

ル教師等ニモ完全ノ腦髓ヲ以テ其師ノ上ニ立タントスルノ門弟ヲ生ズルヲ屢之有リ是レ全ク自然ナリ何トナレバ最大ナル人ト雖タゞ其精神ニ於テ凡ノ人類ニ通有ナル所ノ能力ヲ顯ハスニ過ギズシテ彼ハタゞ其一定ノ時ニ於テ傑出シテ之ヲ顯ハスノミナレバナリ故ニ大人ノ事業ハ常ニ其時代ト其民ノ精神ガ産スル所ノ效果トシテ見ハレ其後進者ハ其卒先者ノ高德ニ等シク時トシテハ之ニ秀出シテ現ハル、有ルナリ、ハリストスハ無數ノ効法者ト信從者トヲ有ス然レドモ一ノ並頭者モ決シテ有ル無シ人間ニ於テ完全ノ光線ハ彼ヨリ發シテ其光輝ハ特ニ「ハリストスニアニ」ノ大能ナル性質若クハ人物致命者及表信者ノ上ニ映射ス然レドモ凡ソ彼等ノ功德ハ其原形タル所ノ「イエス」ニ歸シテ彼等ハ皆其模擬ス可ラザルノ原像ニ對スル稀薄ノ抄寫ナルニ過ギズ一者ニハ慈悲ヲ以テ現ハレ次者ニハ潔淨ヲ以テ現ハレ又或者

ニハ教ノ爲メニ熱心ナルヲ以テ現ハレタル聖人ノ生活ハ大ナリ然レドモ一ノ聖人モ其懷抱スル所ノ者ハハリストスト比スルヲ得マキ程多ク且大ナルアラザリキ凡テ聖人ノ生活ハ人類中一モ罪無クシテ世ヲ過ギシ者ノアラザルヲ證シテ彼等モ自ラ罪無キニ非ルヲ認識セリ然レドモ救世主ノ諸敵ハ自ラ彼ノ無罪ナルヲ證セリアンナトカイアハノ裁判ニ主ヲ訴ヘシ者等ノ中尤嫉妬ナル者ハ彼ニ向フテ言フベキ所ノ者ヲ見得ズシテ妄證ヲ構造セリピラトハ「我レ彼ニ於テ何ノ罪有ルヲ見ズ」ト叫ビ盜賊ハ十字架ノ上ニ在リテ「此人ハ何ノ惡モ行ハズ」ト高聲ニ呼ビ哀ムベキ賣主者ハ「我レ罪無キノ血ヲ交セリ」ト憂悶セリ、イエススハリストスノ完全ハ人皆之ヲ表證スルニ及バザルヲ感ズル程大ナリ、ハリストスハ彼ノ辨論術ノ範圍ニ於テ頌詞ト名ツクル所ノ者モハリストスニ對シテハ何ノ適用モ爲スト能ハザル獨一ノ品位ナリ

イイススヲ頌讚スルニハ何如ナル誇大ノ言モ爲スト能ハズ何如ナル
 過實ノ詞モ思フヲ能ハズ否何如ナル人間ノ言モ彼ノ大徳ヲ眞實ニ象
 ルマデニ上進スル能ハズ且其力ハアラザリキ彼ノ大徳ノ徵侯若クハ
 其固有ナル理線ハ獨リタゞ彼レ一人ニ屬スベキノミ尤驕頑無耻ナル
 人トイヘドモ若シ誰カ其人ヲハリストスト比シイイススニ關シテタ
 ヲ其彼レノ眞實ノ大徳ヲ弱ク顯ハスベキ所ノ稱號ヲ其人ニ命セント
 スルヤ彼ハ意ハズ報然トシテ己レ其地位ニアラザルヲ感セントス何
 如ナル辨論家モ又其己ノ英雄ニ盛ナル稱號頌讚ヲ與フルヲ惜マザル
 所ノ者ニ至テモ若シタゞ其者ニ規矩繩墨是非ノ心ガ幾分ナリトモ存
 スルアレバ其英雄ヲ以テイイススト比スルヲ許ササルベシ人間ノ
 言語ニ於テハ『神人』ト云フ語ノ外イイススハリストスノ眞ノ大徳ヲ更
 ニ精確ニ表スルノ詞アル無シタゞ此言ハ眞實精確ノ意味ヲ以テスレバ

イイススハリストスノ神タリ又人タルノ價位ノ充滿ヲ顯ハスベシ英
 物モ豪傑モ半神モ其他異邦ノ稱號モ主イイススハリストスニ於テ顯
 ハルハ大徳ノ高キヲ顯ハスニ足ラズ先世ノ哲學者ガハリストスニ適
 用シタル『ガリレヤノ賢哲』又『ガリレヤノソクラト』ト云フノ稱號ハ此大
 徳ヲ包括スルヲ愈々微ナリ最近ノ懷疑哲學者ハ福音經ノハリストスガ
 存在シタル事實ヲ疑ヒカメテ彼ヲ半鬼神誌上ノ人物トシテ顯ハサン
 ヲ試ム然レドモ此試ハ弱クシテ事ノ精神ニ依ルニ其目的ヲ達スル
 一能ハズ『四福音ノイイススハリストスノ一代記ニ述ル所ノ彼ノ品格
 ハ全ク廣大ニノ驚ク可キ程秩序有リ并セテ又其彼レニ關スル見解ノ
 自然ニ出デシハ凡テ假作ノ出來得ベキノ限リニアラズ如此ノ品格
 ヲ想出スハ英才ノ人ノ創造ニモ及バザル所ナリ矧ヤ通常世ノ達識
 ト名ツクル或時代ノ所謂總合ノ才ノ創造ニ於テヤ』(『Ecce Homo』一

ノ九十七ハリストスノ摸擬ス可ラザル無比ナル品格ヲ想出シ又ハ發明創作スルヲハ誰カ之ヲ能クスルカ例ヘバ山上ノ教訓ノ如キ無比ナル教訓ト此ノ如キ至高ナル道德ト総テ彼ノ教道トハ誰カ之ヲイイスノ口ニ置キシヤ『若シ福音記者等イイスヲ想出セリト假定セバ彼等ハハリストスヨリモ奇蹟ヲ以テ現ハレントス』懷疑哲學者ハ奇蹟ノ出來得ベキコトヲ擯斥ス然ルニ彼等モシ其全ク不開化ニ且無學ナルガリレヤ人等ノ創造ノ意象ヲ以テ凡ソ世ノ爲メニ道德ノ完全ノ及ブ能ハザル所ノ完全ノ理想ヲ造レリト假許スルナラバ是レ彼等ハ人間ヨリモ上ナル奇蹟ノ出來得ベキヲ自ラ認承スルナリ又ハリストスノ品格ヲ以テハリストス教ガ現出シタル時代ノ總合ノ知識ノ造ル所トモスルヲ能ハズイイスノ品格ハ無限ノ完全ニシタイイスト同時代ノ猶太人等ガ完全ノ標準ト爲セル所ノ表様ニハ無限ニ超越スル

ナリ吾人ハ當時ニ主タル所ノ意見ニ依リ猶太教師ノ理想ニ關スルノ見解ヲ立ツルガ爲メニ充分ノ事實ヲ有スルナリ猶太ノ「タルムード」ニハギルレリーリガマリイル夫子サムイル及ビ其他ノハリストスト同時代ノ猶太教師等ノ事功ト論言トヲ引証録存セリ、彼等ノ行ト言トハ凡テ往々多少ノ發明スル所無キニモアラズ又修飾スル所無キニモアラズ、然レドモ此ノ猶太主義ノ豪傑等ニ於テ我等ハ何ヲ見ント欲スルカ彼等ハ総テ其言ト其行トニ於テハ猶太ノ國情的ノ觀念ノ印象ヲ佩ビテ現ハレ、彼等ハ總テ猶太ノ熱心家ト法律家ト一模型ニ依リ若クハ其當時ノ理想ニ依リテ陶冶セラレタリ、彼等ノ思想ト意見ト行爲ト品格トハ吾人ノ贖罪主ニ於テ見ルガ如ク懸隔スル所ノ者ハ一トシテアル能ハズ、此ノ猶太ノ賢哲等ハ往々空虚岐離ノ論ヲ好ミ詭譎逆理ノ說ヲ愛スル者ナリ、彼等ハ猶太人種ノ偏固ナル國情的特許ノ爲メニハ熱心

ナル争辨者ナリ律法ノ文字ノ爲メニ争フト同時ニ種々ノ詭辨ト巧計トヲ以テ律法ノ精神ヲ離ル、ノ妄想ナル争競者ナリ、一言ヲ以テ云ヘバ彼等ハ總テ多少福音經ニ言フ所ノ吾人ノ救主ニ直ニ抗敵スルヲ以テ現ハル、學士及ヒハリセイ人等ノ映射タルナリ、借問スハリストス教ノ現出ト同時ノ猶太人等ハ凡ソ其國情的ノ表様ヲ全ク離レ其ノ教育、慣習又ハ愛國心ニ依レバ當時ノ猶太人ノ爲メニ最美ニ最良ニ且最人ヲシテ消魂セシムルモノトスル所ノ理線ニハ少シクモ相應セザルノ品格ヲ創造スルマデニ如何シテ思ヒ到リシヤ、如此ノ品格ヲ彼等ノ發明ト見做ス、トノ難キハ既ニ是レ其歴史上ノ事實ノ直接明白ナル證話ヲ成ス即チ其品格ノ無疑眞實ナル、トノ證話ヲ成ス然レドモ此ノ歴史上ノ事實ノ爲メ即チ歴史的『福音經ノハリストス』ノ眞實ナル、トノ爲メニハ既ニハリストスノ教會ノ存在ノ事實ト又ハリストス教ガ始メ

テ傳播シテ其信徒ノ心ニ一般ニ影響シタル、トノ歴史ノ在ル有リ、此ノ如ク人類ノ心ヲ已レニ引クガ爲メニハハリストス教ハ眞實ノ創立者ヲ有スベクシテ又其創立者ハ實ニ如此ノ非常ナル愛ヲ人ニ入レ以テ之ヲ振作鼓舞スルヲ能クスル所ノ者ナラザルベカラズ、抑愛ハ其能ク之ヲ燃起スルニ足ル所ノ標的ナクンハ生ゼザルナリ而シテ吾人ハハイイススノ、トニツキテハ凡ソ其眞誠ノ徒ガ彼ニ奮然ナル忠義ヲ盡スノ外復タ一モ他アルヲ知ラザレバ吾人ハ全ク彼レノ非常ニ大ニシテ且潔淨ナルニ同意ヲ表サ、ルベカラズ、彼ヲ信スルト彼ヲ愛スルノ炎情ト恒固ト彼ノ爲メニ難ヲ受ケ彼ノ爲メニ生命ヲ犠牲ニセント欲スルメ心地ノ如キ凡ソ初代後世ノハリストス教徒ノ生活ニ於テ此ノ如キ争フ可ラザルノ現象ハ是レ其凡ソ如此ノ非常ナル運動ノ根本ニ眞實眞誠ニ神タル其者が在リシ、トヲ認ムル無クンハ斷シテ説明スル能ハザ

ルナリ、イエススハリストスノ生活ノ事ハ異邦ノ作者ニ於テ唯其歴史
 上僅々ノ證詰ヲ守存スルノミナルコトハ論ニ及バズシテ此等ノ證詰例
 ヘバマナトノ *Journal* 十五ノ四十五スウェットニイノ『クラウヂイ』廿五ハハ
 リストスノ降生以後大凡ソ一百年ヲ過ギテ後現出セリハリストスノ
 紀元ノ三十七年ニ生レテ第一世紀ノ末年ニ書シタルイヲシフフラワイ
 イノ史ハ假令ヒ著名ナリトモ其イエススハリストスノ事ヲ言フハ僅
 々數行ニ止マルノミナリ『古史』十八卷三章イエススハリストスヨリ其
 行實ノ如何ナル物質的ノ遺物モ著作モ殘ラザリキハリストスノ公務
 ハ唯暫時ニ止マリ此世ノ權柄勢力ト共ニセズシテ狹小ナル範圍ト當
 時ノ世界ニ於テ顯然タル位置ヲ占メザル所ノ方面ニ歸セリ然レドモ
 イイススニ關シテ歷史上ノ證詰ノ守ラレシモノハ愈僅少ナリト雖彼
 ノ生活ノ信ズルコ足ル可キコトハ之ガ爲メニ少シクモ動カザルマシ何

トナレバ彼ノ生活ハ活キタル事實ニ存スレバナリ、此事實ハ是レ即チ
 ハリストスノ教ナリ否獨リ教ノミナラス總テハリストスノ教會ナリ
 ハリストスノ教ハ存在ス而シテ唯其或方面ニ存在スルノミナラズ到
 處何處ニモ存在セザル無シ歐羅巴ニモ又他ノ世界万国全世界ニモ存
 在ス彼ハ或外部ニ屬スルモノ、如ク又ハ定法ノ如ク存在スルノミナ
 ラズ人類ノ内部ニ存在シ人間ノ心意ト衷情トニ存在ス、彼ハ凡テ輓近
 ノ開化、風俗、慣例、品行及ビ律法ノ精神ナリ吾人ハ總テ或意味ニ於テハ
 ハリストス教ニ於テ生マレ總テハリストス教ノ觀念ニ係レリ自己ノ
 思想ノ様子ニ於テモ自己ノ見解ニ於テモ又ハ自己ノ他ニ關係スルノ
 舉動ニ於テモハリストス教ノ感化ノ下ニ在リ、ハリストスヲ拒絕スル
 ハ是レ直チニ吾人自己ヲ拒絕スルナリ、然レドモハリストスノ此ノ如
 ク包括セザル所無キ無限ナル感化ノ事實ハ是レ若シ地上ニ吾人ノ福

音者が言フ所ノハリストスナル者有ラズシテハリストス教ハ自ラ其創立者ヲ造物主トシテ示ス所ノ其者ニ於テ有セザリシヲ假許スルナラバ如此ノ事實ハ凡ソ十分ノ原因無キ事實ト爲リ凡ソ十分ナル根據無キ結果ト爲ラントス、此關係ニ於テハ先世ノ一哲學者ノ注意ハ正キヲ得タリト謂フ可シ曰ク『何人モ疑フ容レザルソクラトノ事ハイイススノ事ニ比スレバ確信スベキ者愈々少ナリ』ルソーノ『エミリ』

ハリストス教ノ弘布

イエススハリストスガ創立シタル教ノ弘マリタル事實ハ人ヲシテ驚嘆セシムルナリ、凡ソ人間ノ信ズル所ト反對シ異邦ノ哲學者ノ智慧ト異邦ノ有權者ノ勢力トニ抵抗シ初メハ僅々タルガリレヤノ漁夫等ヲ以テ弘布セシメラレタルハリストスノ教ハ古昔ノ世界ノ最強盛ナル開化ノ中心ニ於テ異教ノ殿堂ヲ毀テ其基址ニ至リ不潔ノ祭臺ヲ倒

シ各王宮又ハ各家屋ヨリ僞神ニ奉ズルノ崇拜ヲ一掃セリ、凡ソ開化シタル世界ハ現時ニ於テ福音ノ權ヲ承認ス、彼ハ窘逐ニ對シ甚ダ酷烈殘忍ナル抗抵ニ對シ顯然タル敵ノ直接ノ攻撃ト陰然タル敵ノ狡計トニ對シテ勝ヲ奏セリ且彼ハ格闘シツ、凡ソ夫ノ人々ヲ福音ト反對セシメ福音ヲ傷害セントスル所ノ邪惡ナル情慾ト常ニ格闘シテ其創立者ガ『地獄ノ門之ニ勝ツ能ハズ』ト云ヘル證話ノ眞理ヲ一千九百年ノ間ニ常ニ固メツ、其反對者ニ勝ヲ占メテ一戰ニモ敗ヲ取リシヲ無カリキ、歴史ノ事件トシテハハリストス教ノ進効ハ要スルニ驚ク可ク其創立者ノ預言ノ應驗トシテハ彼ハ明ニ奇蹟ナリ。救世主ガ世ニ在テ最後ノ言ハ人ノ知ル所ナリ曰ク『往テ万民ヲ教ヘ父ト子ト聖神ノ名ニヨリテ之ニ洗ヲ施スベシ』ト、此言ハ是レ此眞理ガ後來實ニ應驗シテ凡ソ人間ノ權カハハリストス教ヲ弘ムルヲ是認スルモ之ヲ滅スヲハ應允セザ

ルノ點ニ至ルマデ實成シ得ルノ力ヲ未ダ有セザルノ時ニ於テ發セラレタル言ナリ、知識ノ弘布ハ當時非常ニ困難ニシテ刻書ノ術ハ未ダ發明セラレズ今日福音ガ達シタル許多ノ邦國モ當時ハ未ダ發見セラレザリキ、然レドモ今日聖書ガ何處ニモ弘布セザル無キハ是レ其一千九百年ノ以前ニ宣言セラレシ預言ノ今日實際ニ成リシヲ證スルナリ故ニ彼ノ大ナルハ人智ノ一慮ニ出ツル所ノ想考ノ比ニ非ルナリ、福音ノ傳道ハ凡テ地上ニ住ム所ノ者ニハ各民族ニモ各人種ニモ國ニモ民ニモ宣布セザル無シ、ハリストス教ハ今日全歐羅巴及ヒアメリカニ於テ信認セリ、ハリストス教ハ世界ノ各國ニ在リ、福音經ハ今日地ノ極ニ至ル迄存スル所ノ百五十ノ方言ニ譯出セラレタリ世ノ創造ヨリ以來他ニ何ノ書カ此距離ノ五分ノ一ニモ誦讀セラレ或ハ又知ラレシモノダモ之有リヤ、ハリストス教ガ成效ヲ奏シタル第二ノ原因ハ如何ナリシ

ニセヨ又此原因ニ關スル人々ノ意見ハ如何ナリシニモセヨハリストス教ノ勝利ハ是レ其此ノ如ク驚ク可キヲ以テ世界ノ邊隅ヨリ弘マリ此ノ如ク驚ク可キノ勝ヲ奏シタルノミナラズ其創立者ガ此事ニ於ケル明白ナル預言ト全ク應シタルノ教ハ第一ノ大ナル原因タル者ヲ以テ降遣セラレシ神ナル感通ヲ以テ其元始ト爲スヲ固ク證スルナリマゴメト教ノ迅速ニ弘布シタルヲ示ス者アリ然レドモ(イ)マゴメト教ハ強迫ト戰爭ト劔ト火トヲ以テ弘メラレタリ、マゴメトハ二十三年ノ間五十次ノ戰ヲ爲シテ自ラ野蕃ナルアラビヤ人ニ將帥トナリマゴメトガ死シテ後ハアブベケルヲマル及ビ其他ノ後嗣者等ハアラビヤパレステナシリヤエギベト及ヒイスバニヤヲ染ムルニ『不信者』ノ鮮血ヲ以テセリ、(ロ)マゴメト教ノ迅速ニ蔓延シタルハ又其教ノ性質ニモ依ルナリ何トナレバ彼ハ情欲ノ爲メニ人心ヲ奪ヒツ、情欲ノ無盡ノ樂

ヲ未來ニ約シ因リテ以テ東方許多ノ民ヲ已ニ引誘シタレバナリ、然レドモ彼ハ西方ニハ弘マルコト能ハザリキ西方ニ於テハ既ニ高尙ナル開化ノ發達セシニヨリ東方ニ於ルガ如ク引誘シ得ザリキ、マゴメト教ノ迅速ニ蔓延シタル原因トナリシモノハマゴメトノ器械ノ力ト其教ガ人心ヲ奪フノ外ニ更ニ復々當時ノ外部ノ事情ノ在ル有リ(イ)ハリストス教ノ世界ニ於テアレクサンドリヤコンスタンチノールポリエルクアリム及ビ全東方ニ於テ第六世紀ニ當リ壞乱ノ争鬪相踵ギ一方ニハリストス教ト異教ト争ヘバ又一方ニハ正教ト異端及ビ岐教ト争ヘリ世俗ノ有權者モ屢此宗教ノ争ニ立入りテ或ハ異端ヲ窘メ或ハ正教ヲ攻メタリ、マゴメトノ名ト其經典トガ炎々タル惑溺ト劔ノ力トヲ以テ何處ニモ浸入スルニ當リテハリストス教ノ世界ニ平和結合及ヒ協同ノ有ラザリシハ是レヅマゴメト教ノ弘マルニ自然ニ僥幸セシ所以ナ

リ(ロ)又異教世界ニモ此時ニ方テ多神教ト一神教トノ争起レリイエルサリムノ破壞ノ後アラビヤニ汎濫シタル希伯來人ノ教ノ外コ、ニ又二ノ宗教アリ即チ一ハ「マールグ」ノ宗教ニシテプロアストルガ印度教ノ影響ニヨリテ一神教ニ屬スル所ノ二元論ニ改造シタル者ト又一ハ「サベヤン」人若クハハルヂヤ人ノ宗教ニシテ唯一ノ神ヲ認ムレドモ神ガ世界ヲ直接ニ統治スルヲ容レズシテ世界ハ其造物主ヨリ日、星、行星及ヒ彗星ニ居ル所ノ諸靈ニ一任セラレタリト云フモノ是ナリ、凡ソ此等ノ宗教即チ猶太教、拜星教及ビ「マギーズム」ハアラビヤ人ノ間ニ於テ其熱心者ヲ得タリシガ其信仰ノ紊乱シタルニヨリ又其信認ノ區々様々ナルニヨリテモマゴメトヲシテ其同國人ノ心ヲ誘惑シ一ハ彼等ノ信仰ヲシテ其純然タル唯一神教ノ定理ヲ表出シタル「イスライズム」ニ合并セシムルト一ハ火ト鐵ノ力ヲ以テ多神教ノ頑冥ナル殘餘ヲ殄滅ス

ルトヲ以テ易々トシテ彼等ヲ自己ニ引誘スルノ便利ヲ得セシメタリ
シナリ

ハリストス教ノ神髓及其根本ノ真理

イエススハリストスガ創立シタル教ノ眞價ヲ定ムルニ方リテハ此教
ノ神髓ニ關スル問題ノ如ク重要ナル價値ヲ有スルノ問題ハ一トノア
ルナシ、此問題ハ凡ソ他ノ宗教ト異ニシテハリストス教ノ内部ノ精神
ヲ表出スルモノハ如何ナル根本ノ特質ナルカト云フニ在リ、凡ソハリ
ストス教ノ價値ヲ正シク了會シ若クハ不正ニ了會スルハ實ニ此問題
ヲ決スルノ如何ニ係ルナリ、今此問題ノ積極的ノ決定ヲ爲スニ先タチ
ハリストス教ノ神髓ノコ關スル輓近正理論者ノ首ナル理論ヲ簡短
ニ撮要分解スルヲ爲サントス
輓近正理論ヨリ出ツル所ノハリストス教ノ神髓ヲ詳明セントスルノ

企圖多ク之有リ、此企圖ニ於テ二個ノ根本ノ主義ヲ認ムベシ一ハハリ
ストス教ノ神髓ヲ凡テ唯其道德上ノ主義ト趨向トニ歸セシメ又一ハ
其神髓ヲ抽象的ノ觀念ノ狹隘ナル範圍ニ包括セシメントス、是時ニ方
テ二ノ極端ナル反對論ヲ見ル即チハリストス教ノ精神ニ對スル偏固ナ
ル道德上ノ意見ト偏固ナル理論上ノ意見是ナリ、前者ノ例ニハカントノ
意見ヲ示スベキヲ勿論ナリ、カントノ意見ニ依レバ左ノ如シハリスト
ス教ガ凡ソ他ノ教ト迥異スル所ノ者ハタゞ其他ノ教ニ對スル道德上
ノ秀出ニ在リ、ハリストスハ道德上ノ完全ノ理想的標準ナリ善ノ觀念
ノ滿具者ナリ彼ノ福音ハタゞ其人間ノ天性ノ道德的理想ノ要求ノ最
良ナル顯現ナリ彼ノ教會ハ道德上ノ善ヲ實成スルノ範圍ナリ、凡ソハ
リストス教ノ眞ノ價値ハタゞ其道德上ノ命令ニ在リ、ハリストス教ニ
於テ定理ノ教ハ眞ノ價値ヲ有セズ、凡ソハリストス教ノ客觀的ノ部分

ヲ成ス所ノ者即チハリストスヲ以テ人ノ救ト人ノ福樂ノ爲メニ人間ノ贖罪主ト爲セシ所ノ者ハカントノ門派ニ於テハハリストス教ノ範圍ニ於テ超絶的ナル者ト爲シ眞成的ニ非ル者ト爲シテ之ヲ棄擲ス。如此ノ意見ガハリストス教ノ神髓ヲ偏固ニ了會スルヲ含有スル所以ハ多言ヲ要セズ易シク言ヒ顯ハスヲ得ベシ甚タ淺ク推究スルモハリストス教ハ斷ヲテ定理無キノ道德ニ非ルトハリストス教ノ道德ノ教ハタゞ其表面ニ於テノミ信教ト合スルニ非ルトヲ認メザル能ハズハリストス教ハ道德ノ或門派ノ如クタゞ其宗教上ノ制裁ノ道德ノ規則ヲ感銘シ人ノ道德上ノ義務ヲ至上ナル實體ノ意旨ニ基ツクルニ向フヲ以テ限リト爲サズ彼ハタゞ其定理ト表面上ニ結合スルノミヲ以テ足レリトセズ凡ソハリストス教ノ倫理ハ却テ定理ノ教ニ基ツキテ定理無クンバ彼ハ其眞實充滿ノ重キヲ有セズ三一神ノ事神ノ子ノ人トナ

リシト人間ノ贖罪ノ事等ニ關スル定理ノ教ハ是レハリストス教ニ於テ或ル第二等ノ義ヲ有スルニアラズシテ根本ノ重キヲ有ス定理ノ教ハハリストス教ニ於テタゞ其教ノ高尚ノ教權ヲ道德ノ教ニ附加スルガ爲メニ現ルニアラザルナリ彼ハ却テ凡ソハリストスノ教ノ精神ヲ光照シ凡ソ吾人ガ道德上ノ關係ニ於テ必ず歸スベキノ者ノ本源ヲ成ス所ノハリストス教ノ中心タル太陽ナリ

ハリストス教ノ道德上ノ旨趣ヲ定理上根本ノ主義ヨリ分離スル時ハハリストス教ハ彼ノカントノ意見ノ勢力ニ從屬シタル西歐神學者ノ勞ニヨリ眞實ノ光ヲ以テ現ハレシヲ無論ニ言フ能ハザルベシ然レドモ當時ノ諸智識ノ倫理主義ニヨリハリストス教ノ道德上ノ一邊ノミヲ獨リ表顯スルモハリストス教ハ智識ニ有益作善ナル感化ヲ及ボスト無クシテ己ム能ハサルベシハリストス教ハ其定理上ノ基址ヲ動

カサントスル趨勢ノ爲メニ弱ハマサルヲ爲サザル宗教ノ獨一ニシテ全ク特別ナル例ヲ顯ハス、凡ソ歴史上ニ知ラレタル他ノ宗教ニ於テ定理上ノ想念ノ衰フルハ其宗教ノ全ク亡フルト殆ド均シカラントス何トナレバ彼等ニ於テモ道德上ノ眞理ノ元素ハ亦此想念ト淆混シタリト雖彼等ノ道德上ノ旨趣ニハ殊絶特別ナル破ル可ラザル永存スベキ者一トシテ有ラザレバナリ、彼等ニ光透シタル道德上ノ眞理ハ新ナル組織ト混合セリ故ニ此等ノ宗教ハ既ニ其己ノ活動ヲ遂ゲテ漸々漸盡シ懷疑的ノ思想ガ彼等ノ定理上ノ基址即チ即接神術ト鬼神論トニ觸レシニヨリテ凋落セリ、然レドモハリストス教ノ高大絶特ナル理線ト其神出ナルコノ高大ナル道德上ノ證詰トハ凡ソ夫ノ懷疑的ノ思想ガ其定理ノ部分ヲ攻撃スルニ拘ラズ又凡ソ彼ノ信理ヲ動カシテ一般ノ意識ニ其定理上ノ旨趣ヲ冷淡視セシムルノ心ヲ入レントスルノ徑盡

ニモ拘ハラズ彼ハ人間ノ道德上ノ發達ノ首ナル源泉トナリテ存スルニ在リ、彼ハ比類無ク完全ナル道德上ノ理想ノ抗ス可ラザル誘導ト感勢トヲ以テ此問題ヲ遂ルナリ、人間ノ道德上ノ進歩ハ今世紀ノ甚ダ冷淡ナル時代ヲモ省カズシテ特ニ專ラハリストス教的ナルコヲ未ダ曾テ罷メザリキ、實ニ人間ノ歴史ヲ見ルニ此理想ガ開化ノ各進歩ト共ニ新ナル勢力ト美トヲ獲ツ、其作善有益ナル感勢ヲ凡ノ思想ト生活ノ範圍ニ入レツ、或外部ノ力ノ助ヲ全ク假ル無ウシテ世々ノ間ヲ經過シタル有様程奇異ナル者ハ一トシテ之レ有ル無シ、然レドモ時ノ流ルルニ隨ヒ特ニ先世ノ終ヨリ始メテ西歐ノ哲學者等ガ此理想ヲ凡ソハリストス教ノ定理ノ想念ヨリ分離セント欲スルニモ拘ラズハリストス教ノ神出ナルコノ獨リ其教ニ存スル所ノ完全ニヨリテ承認セラレタリ、是レ全ク歴史上ニ於テ全ク獨一ナル現象ナリ、故ニ其完全ノ高尚

ナル表様ニ於テ高尚ナル神ノ啓示ヲ認ムル者ノ爲メニハ此現象ノ旨趣ハ甚ダ明々瞭々トシテ看過セラル、一能ハザルベシ、ハリストス教ガ智識上ニ權ヲ操ルノ感勢ニ對シ名ヲ進歩ニ假リテ之ヲ論ズル世ノ喋々ヲ來セシテ屢ナリ然レドモ進歩ハ實ニ進歩タルノ間ハハリストス教ノ神ナル創立者ノ品格ニ漸々近ツキ來リテハリストス教反對ノ教ノ傳道者等モ知ラス識ラズ自然ニハリストス教ノ道德上ノ理想ノ感勢ニ從屬セリ、此理想ハ是レ其カントノ派ガ定理上及ヒ總テ理論上ニ屬スル所ノ宗教的問題ニ對シテハ冷淡視スルニ拘ラズカントノ時代ニ於ルガ如ク勢力ヲ得テ一般ノ承認ヲ得タルコトハ未タ曾テ之レ有ラザリシト云フモ過言ニアラズ單ニ道德上ノ標準ヲ宗教ノ評價ニ適用シツ、人ハ多ク此方法ニ由リテハリストス教ノ神出ナル價值ヲ確信シ來レリ、ハリストス教ノ道德ノ觀念ノ要求ハ近者ニ對スル舊熟活

潑ノ愛ヲ以テ貧ト惡トノ盲昧ナル隱所ニ透入スルニ在リ、地上万国ヲシテ無限ノ仁愛ガ潤ス所ノ流レニ浴セシメ人間ノ種類ヲ凡テ親密靈活ナル同感同情ノ範圍ニ懷抱スルニ在リ、人類ノ一ノ等級ヲ他ノ等級ヨリ分チ甲ノ民ヲ乙ノ民ヨリ分ツ所ノ障礙ヲ撓マスニ在リ、軍人ヲ兇猛ナル元素ヨリ免レシメ人類ノ間ニ道德上ノ平等ト眞實ナル友睦ノ意識ヲ煽起シ此意識ヲ凡ソ社會ノ位置ノ偶然ナル等級ノ上ニ主タラシムルニ在リ、眞理ノ爲メニ眞理ヲ愛シ吾人ノ意ニ合ハザル所ノ者ニ對シテモ誠實ト忍耐ノ精神ヲ養フニ在ルナリ、夫レハリストス教ノ道德ノ理想ノ徵候ハ此ノ如クナルモ此理想ハ使徒ノ時以來未タ曾テ今日ニ於ルガ如ク有力ニシテ且一般ノ同感同情ヲ得シコトアラザリキ故ニ彼ノハリストス教ノ道德上ノ元素ハ自ラ一モ殊絶特別ナル者ヲ顯ハサズシテハリストス教ノ神出ノ價值ハ其道德上ノ旨趣ト其人間

ニ及ボス所ノ道德上作善有益ナル感勢トヲ觀察スルヨリシテ引出シ
來ル能ハズト主張スルノ辨論程紕繆且膚淺ナルモノハ一トシテ有ル
可テズ

ハリストス教ノ初時ニハ「グノステカ」ガ已ニ顯ハシ又輓近ニハ「ヘーゲ
リ」ノ思辨的學派ノ徒ガ特ニ顯ハセルハリストスノ教ノ神髓ニ對スル
偏固ナル理論ノ意見ニ依レバハリストス教ノ神髓ハ其世界ニ知ラシ
メタル高尚ナル知識ノ眞理ニ在リ「ヘーゲリ」ハ人ノ知ル如クハリスト
ス教ヲ名ツケテ絶對ノ宗教ト曰ヘリ然レドモ「ヘーゲリ」ハ宗教ノ觀念
ヲ定義シテタト其抽象的ニ顯ハル、ノミナラズ具體的ノ形狀ヲ以テ
顯ハル、論理上ノ觀念トスルニヨリ此哲學者ガハリストス教ノ絶對
的ノ旨趣ヲ了會スルハ實ニハリストス教ニ屬スル所ノ意味ニアラズ
「ヘーゲリ」ノ教義ニ依レバハリストス教ハ絶對無限ノ宗教ニシテハリ

ストス教ニ先ツ所ノ宗教ニ於テハ唯其一部分ニ於テノミ不十分不
完全ニ顯セシ所ノ大ナル宗教的哲學ノ眞理ヲ幾分カ自己ニ含有スル
ノ教ナリ即チ神性が人ト合一スルノ「無限者ガ有限者ト同ウスル」ノ
「三ノ自定ニ於ケル絶對的觀念」ノ「即チ聖三者ノ「ノ眞理ノ如キ是
ナリト」凡ソ「ヘーゲリ」ノ哲學ガ主タル時ニ當リテ哲學上ノ正理論ハハ
リストス教ノ神髓ニ對シテ此主眼ノ上ニ立テリ「ストラウス」パウ
ル及
ヒ其他「彼等」ハ凡テハリストス教ヲ以テ世界論又ハ神統紀ノ諸問題ガ
決セラルベキ所ノ或哲學上ノ組織トシ視テ唯此ニ止マルト爲ス然レ
ドモハリストス教ニ於テ最重要ナル部分即チ神ノ子ガ人ト爲リシ「
ト神ノ子ヲ以テ罪ナル人間ヲ贖フ」ノ事實即チ神ノ仁慈ガ人間ニ及
ブ奇蹟ノ事實ノ如キ「歴史」上通常ノ現象ヨリ無限ニ超出スル「歴史」上非
常ナル現象ノ如キ「モシ」之無クンバハリストス教ハ無トナルベキ所ノ

ハリストス教ノ最眞成ノ部分ヲ以テヘーゲリ派ノ正理論ハ全ク眞成ナル者ト爲サズシテ總テハリストス教ニ含有スル所ノ歴史上ニ屬スル事實ヲ以テ鬼神論ノ範圍ニ歸セシメタリ、ハリストス教ノ實體ニ對シテ如此ノ意見ヲ把持スル時ハ嚴ニ云ヘバハリストス教ハ絶對ノ宗教ト謂フベカラズ「タトヒヘーゲリモ又其徒弟モ此稱號ヲ以テハリストス教ニ適用スト雖」モシハリストス教ノ眼目ハタゞ其形而上的ノ主眼ヨリ見テ深遠ノ價值ヲ有スル高尙ノ眞理ヲ世界ニ報ズルノミニ在リトスレバハリストス教ハタゞ宗教ノ理論上ノ一部ヲ實成スルノミニ止マラントス然レモ獨リ天啓ノ教ノミナラズ天然ノ教ト雖モ其全旨趣ハ此ノ一部ヲ以テ限ラザルナリ

ハリストス教ノ實體ニ對スル更ニ愈々極端ナル偏固ノ意見ハフェルバフノ「ハリストス教ノ神髓」ヲ論スルノ文中ニ於テ著ハレタリ、フェルバフ

異教ニ反對シハリストス教ノ神髓ヲ定義シツ、ハリストス教ニ於テ主觀的ナル者ガ客觀的ナル者ニ勝ツヲ見ントス即心ト意象トガ道理ニ勝チテ之ヲ支配スルヲ見ントス、彼ハハリストス教ニ於テ純ラ直覺的ナル宇宙冥觀ノ組織ヲ見テ外部ノ世界又ハ見ユル所ノ万有ハ凡ソ其法則ト共ニハリストス教ノ爲メニハ價值ヲ有セザルモノト爲ス、彼ノ教ニ依レバハリストス教ハ人ヲ以テ世界ノ外ナル及ビ世界ヨリ上ナル實體ト爲サントス又ハリストス教ハ人ヲ外部ノ世界トノ關係ヨリ全ク分離シ其係屬ヲ絶チ意象ニ與フルニ奇蹟的及ヒ天然而上的ノ範圍ニ於テ居ルベキ全ク拘束スベカラザル地位ヲ以テセントスト云フ、次キニフェルバフノ解釋ニ依ルニ云フハリストス教ハ万事ヲ一個人ノ利益ノ爲メニ犠牲ト爲スハリストス教ハ一個人ヲ社會トノ關係ヨリ免レシメ一個人ガ家ト國トニ對スルノ關係ヲ毀チ一個人ノ注意ヲ單ニ

自己ニ集メ自分一己ノ救ニ歸セシメントスト、此ノ如クフェルバフハハ
 リストス教ノ神髓ニ於テ正理知識學問及ビ公共ノ生活ト其凡ノ進歩
 即チ社會上、科學上、經濟上及ビ政治上ノ進歩ニ歎スルノ元素ヲ發見セ
 ントス、然リ而シテ凡ソ輒近許多ノ正理論者(ロランレナン及ヒ其他)ガ
 フェルバフヨリ得來レルハリストス教ノ神髓ニ對スルノ意見ハ是レ左
 ノ三ノ誣妄ニ基據スルナリ第一ハハリストス教ハ意象ト心ノ主觀的
 ノ希望ヲ重シテ智識ヲ輕ゾスト云ヒ第二ハ人ト世界トノ關係ヲ破
 リテ學問ノ進歩ニ歎スト云ヒ終ニ第三ハ一家及ビ社會ノ關係ヲ破リ
 ツ、開化ヲ滅絶スト云フ是ナリ、吾人ハハリストス教ノ爲メニハリ
 トス教ナル者ハ吾人ノ心靈ノ客觀的ノ才能タル智識ヲ賤メテ心ノ主
 觀的ノ希望ト意象ノ妄想トニ重キヲ歸ストノ詰責ヲ聽クヤ自然ニ現
 ハル、問題ハ左ノ如シ即チ此詰責ハ何ヨリテ來リシヤト、是レハリ

ストス教ハ心靈上一般ノ成長ニ比シテ獨リ智識ノ發達ニノミ不適當
 ナル重キヲ歸セザルニ由ルニアラズヤ、然レドモ此ヲ以テハリストス
 教ハ斷シテ智識ヲ輕ゼズタゞ智識ヲシテ心靈ノ他ノ能力ト調和ナル
 關係ヲ得センメントスルノミ、ハリストス教ハ智識ヲ德憑シテ傲然ト
 自ラ誇ルヲ爲サシメズ智識ヲ以テ神ト爲サズ何トナレバ是レ智識其
 物ノ爲メニモ有害ナレバナリ、然レドモハリストス教ハ智識ヲ視テ生
 活ニ適用スルガ爲メニ神ヨリ與ヘラレシ才能ト爲シ睿智ヲ視テ宜ク
 求ムベキ所ノ神ノ祝福ト爲ス、タゞ其好事心ニノミ満足ヲ與フル所ノ
 冷淡無結果ナル知識トタゞ慢心ヲノミ德憑スル倨傲大様ナル知識又
 ハ驕傲ノ爲メニ隅石トナル所ノ知識ト如此ノ知識ハハリストス教ノ
 主眼ヨリ稱揚セラレザルベシ、然レドモハリストス教ハ真理ノ友タル
 所ノ知識ヲ獎勵シテ『真理ハ汝等ヲ自由ニス』人ノ爲メニ心靈上益進ノ

事ニ於ル善良ナル輔翼者ト爲シ真理ノ爲メニ戰フ者ト爲シ善ト義トノ僕ト爲シテ之ヲ表出ス、次キニ又問ハンハリストス教ハ人ト世界トノ關係ヲ破リ人ニ万有ニ對シテ輕視スルヲ勸ムトノ詰責ハ何ニヨリテ來リシヤ、是レハリストス教ハ造物主ガ其造ル所ノ世界ニ對シテ無限ニ秀出スルヲ示スニ由ルニアラズヤ又聰明ナル人ノ靈魂モ日月星辰及ビ其他ノ無生物ニ對シテ秀出スルヲ示シ人ノ不死ノ本領ト物體世界ノ暫時ナル關係トヲ示シ此世ノ生活ヲ以テタゞ其永遠ノ生活ニ豫備スルノ階段トシテ示スニ由ルニアラズヤ、然レドモ凡テ此ヲ以テハリストス教ハ人ノ心靈上ノ發達ト人ノ現生道德上ノ益進ニ助クルナリ、ハリストス教ハ人ノ心靈ガ無生無情ノ物質ニ凱旋スルヲ助ケ人ヲ獎勵シテ世界ニ於テ聰明ナル有爲者トナシ其万有ノ盲昧ナル力ヲ主宰スルノ權ヲ擴張シテ万有ノ力ヲ聰明ナル力ニ從ハシムルヲ爲サ

シメントス、ハリストス教ハ人ガ世界ニ在ル間ハ人ヲ世界ヨリ斷離セズタゞ其ノ人ガ世界ヲ非常ニ偏愛スルヲ預戒シ以テ人ノ進歩ニ助クルナリ、歴史ハ万有ノ穿鑿攻究ニ專ラ從事スルノ學問即チ博物學モ其進歩ヲ多クハリストス教ニ歸スルヲ證ス、博物學ハタゞハリストス教ノ有益ナル感化ニヨリテ今日居ル所ノ學問上發達ノ高點ニ上進セリ、吾人ハフェルバフガ言フ如ク夫ノ外部ノ世界ニ對スル意見ハハリストス教ノ世界ニ比スレバ愈々客觀的ナリト云ヘルハリストス教以外ノ世界ノ歴史ニ於テハハリストス教ノ世界ノ歴史ニ於ルガ如ク博物學ノ廣ク且有力ナルノ高飛ヲ見ズ、吾人ハ夫ノ東方ノ種々ナル異教ノ門派ノ僞說即チ物質ヲ以テ惡ナル元質トシ視ルノ意見ト僞ナル寂靜主義ト凡テ外部ノ世界ノ實ナルヲ滅却スル妄想極端ナル唯心論ノ如キ者ガ異教世界ニ於テ博物學ノ進歩ノ爲メニ不適當ナリシ所以ハ復タ廣ク

講明スルニモ及バズ希臘羅馬ノ異教ト雖其妄信偏見ノ多々ナルハ万有ヲ講究スル眞實ノ進歩ノ爲メニ大ナル輪制タリシヲ認メテ足レリ、凡ソ今日存在スル所ノ宗教中唯一ノハリストス教ノミハ其主義ニ於テ此進歩ニ敵シ又ハ不適當ナル所ノ者ヲ一トシテ含有セザルナリフルバフノ不證明的ノ主張ト反對シテハリストス教ハ万有ニ對シテ之ヲ輕侮セズ反テ神ノ造物ト爲シテ之ニ切ナル同感同情ヲ表ハス、大ナル博物學者ハ万有ニ對スルハリストス教ノ意見ノ深キト美ナルトニ對シテ膝ヲ屈セリ其一人「シウベルト」ノ言ニ依ルニ曰ク「深ク且愛スベキ心ノ爲メニ万有ハ則チ夫ノ吾人ノ救世主ガ往々有形的万有ヨリ象ヲ取ル所ノカト愛ト生活トヲ充滿スルノ譬喩ニ於テ象ラル、ガ如クニ現ハレントス」吾人ハ万有ニ對スルハリストス教ノ意見ニ於テハ彼ノ異教世界ニ殆ド一般ナル所ノ妄信即チ万有ノ種々ナル現象ト物件

トヲ立テ、神ト爲ス「ノ絶テ無キヲ見ル、凡ソ異教人ガ己ノ盲昧ヲ以テ崇拜スル所ノ造物」日月星辰ヲ以テハリストス教ハ造物主ノ足下ニ置カントス、此ヲ以テハリストス教ハ人ヲ其世界ノ物質ノ前ニ屈服スルト万有抑壓ノカトヨリ自由ヲ得セシムルナリ、若シハリストス教ハ舊約ノ教ト共ニ夫ノ異教ガ万有ヲ以テ神ト爲ス「ノ太々妄信ナルヲ吾人ニ教フル」無リセバ博物學ハ古昔ノ世界ニ於テ異邦ノ種々ナル世界開闢論ニヨリ又ハ異教ノ万有ニ對スル僞見ニヨリテ痛ク戕賊セラレタル頑冥不靈ノ團塊ノ中ヨリ何ノ時ニ脱スルヲ得ンヤ愈疑ハザルヲ得ズ、例ノ爲メニ拜星教ザヘイズム星宿ノ天ヲ以テ神トスルノ教ガ万有ニ對スル古世界ノ哲學ノ教ニ抗ス可ラザル感勢ヲ及セシヲ示スベシ、大ナルブラトント雖天上ノ光ヲ以テ至上世界ノ冥想ニ沉没シタル半神ノ實體ト思ヘリアリスト一テリ即チ古昔ノ有名ナル博物學者モ之ト同様ノ

意見ヲ免レザリキ、古ノ「ストイク」等ニ於テモ亦同ク此思想ヲ離レザリキ
 彼等ハ不斷ニ万有ニ普及スル神ノ靈ヲ以テ凡テ万有ヲ生活セシムル
 ト想定シツ、神ノ力ガ特別ニ集マリシヲ天上ノ光ニ於テ承認セリ、凡
 ソ古昔ノ異教ノ存在スル時ニ方リテ天文學ガ此ノ如キ意見ノ感勢ノ
 下ニ在テ星占術又ハ之ト共ニスル所ノ妄信ノ混淆ヨリ全ク自由ヲ得
 ル能ハザリシハ怪ムニ足ラザルナリ、唯聖書ノ教ニ頼リ即既ニ舊約ニ
 於テ星占ト拜星トヲ迷謬ト爲シ無限ニ之ヲ定罪シタルニ頼リテ天文
 學ハ時ノ移ルニ隨ヒ漸々學問ノ地面ニ儼立シテ終ニ其自己ノ範圍ヨ
 リ星占術ノ元素ヲ逐フヲ得タリ、ハリストス教ハ凡テ妖術ノ種類ヲ
 定罪シツ、異邦ノ万有ニ於ルノ學問ガ羈絆セラレシ所ノ妖法巫術ヲ
 博物學上ノ範圍ヨリ排除スルノ途ヲ啓ケリ、モシ夫レハリストス教ノ
 世界ニ於テモ既ニ煉丹ノ法有リ巫術又ハ妖法ノ類有リト之ヲ以テ算

命ニ對シテ極言スル所ノハリストス教ヲ罪スベカラズ反テハリスト
 ス教ノ高尙ナル元素ヲ得ザル所ノ人々ノ罪ニ歸スルヲ要ス、終ニ古昔
 ノ教會ノ有名ナル神父等ハ警醒シ且并セテ同感同情ヲ以テ万有ニ對
 シタルニ注意セザル能ハズ即チ大ワシリイノ如キニスサノグリゴリ
 イノ如キハ万有ヲ考究シテ其啓示ノ高尙ナル眞理ヲ解明スルガ爲メ
 ニ恒ニ万有ニ向ヘリ彼等ハハリストス教ノ宇宙論ノ地面ニ立チテ其
 見ル可キ所ノ万有ニ對スル意見ノ根本タル理線ヲ之ヨリ借り凡ソ其
 万有ニ對スルノ關係即チフェルバフガ恣ニハリストス教ニ名ツクル如
 ク万有ニ對シテ輕侮厭離スルノ影ダモ無キ所ノ合理ナル關係ハ之ニ
 由リテ益々安固ヲ得タリ
 終リニハリストス教ハ凡テ其注意ヲ唯一個人ニ集メテ一個人ト社會
 トノ關係ヲ破ルトノ詰責ハ何ニヨリテ來リシヤト問ハゞ此疑問ニ對

シテモ此詰責ノ黨ヨリ合理ノ答辨有ラザルベシ、人間ノ品位ハハリス
トス教ノ主眼ヨリ見レバ之ヲ以テ智慧自由ナル實體ト爲シ特ニ世界
ノ神ナル贖罪主ノ血價ヲ以テ贖ハレタル實體ト爲シテ無限ニ重要ナ
ル價值ヲ有スルヲ無論ナリ、ハリストス教ハ社會ノ大團ヲ以テ人間ノ
個位ヲ壓潰絶滅セズ之ヲ視テ全社會ノ無ナル部分ト爲サズタゞ全社
會ニ於テノミ或價值ヲ有シ得ベク、全社會無クンパーモ緊要ナキ部
分トハ爲サズ、ハリストスノ教ニ依レバ人ハ自ラ己ニ於テ高尚ナル本
領ヲ有スルナリ、然レドモ此ヨリシテハリストス教ハ其己レニ於ルノ
思想ト其己ノ救ニ於ルノ念慮トヲ以テ人ノ凡ノ義務ヲ制限スト歸
結スルハ謬レリ、救世主ヲ以テ與ヘラレシ新誠ハ吾人ニ告テ云ク『相愛
スベシ』『人其友ノ爲メニ己ガ生ヲ捐ツルハ之ヨリ大ナル愛無シ』ト、何
人モ己ノ爲メニセズ即チ各衆人ノ爲メニストハ是レヅハリストス教

ノ意見ニ於テ人間社會ノ理想ヲ表出スルノ定式ナリ、フェルバフ言フ異
教ハハリストス教ニ比スレバ殊ニ愈、『族』ノ觀念ヲ以テ透徹セリ』ト、異
教ハ『族ノ爲メニ』一個人ヲ犠牲ニ献セリ、然レドモ更ニ正シク云ヘバ異
教ハ一個人ヲ彼此各個ノ族ト彼此各個ノ民ト彼此各個ノ國ノ爲メニ
犠牲ニ献セリ、然レドモ總テ『族ノ爲メニハ』全ク献セズト云フハ當然ナリ
總テ『族』ト云フヲ『人間』ト云フヲノ觀念ハ異邦ノ宗教ニハ斷ツテ之有
ル無シ、一個人ト全人間ノ關係ハ異教ニ於テハ表面的ニ之ヲ了會シテ
純ラ天然物質上ノ關係ト爲セリ、全人間ノ道德上ノ親與ト其同一ナル
トトハ異教世界ニ於テハ尤曖昧ニ認識セリ、故ヲ以テ吾人ハ古昔ノ世
界ニ於テ何處ニモ種族ノ分離ヲ見ザル無シ、ハリストス教ハ凡テ人類
ト民族ノ同胞ナルヲトタゞ物体上ノミナラズ道德上ニ於テモ彼等ハ
眞ノ同一ナルヲト凡テ人類ノ一天父ノヲト凡テ人間ノ一贖罪主ノヲ

トヲ教フ、贖罪主ハ自ラ其地上最後ノ祈禱ニ於テ左ノ如ク言顯ハセリ
 曰ク『衆ヲシテ一タラシメヨ』ト故ニフェルバフガ異教ハ『族』又ハ『人間』ト
 云フノ觀念ヲ有シテハリストス教ハ此觀念ヲ吾人ヨリ奪ヘリト思フ
 ハ無益ナリ其實ハ全ク之ト反對ニ言ハンコトヲ要ス人間ト云フコトノ觀
 念ハ異教ヨリモハリストス教ニハ比類無ク深ク存在セリ、民族ノ同一
 ナルコト結合スルコトノ觀念ハ純ラハリストス教ノ觀念ナリ、民族相互
 ノ權利ノ大ナル建物ハ凡ソ民族ガ各、孤立シ若クハ互ニ相争フニ拘ラ
 ズ其高尙ナル一位即チハリストスノ教會ニ渾一融和セラレテ教會ニ
 對シテハ『ワルワル』モ復タ『ワルワル』ニアラズシテ全ク其天然ノ從屬者
 ナリト思フベシトノ觀念ノ上ニ建立セラレタリ、ハリストスノ教ハ福
 音ガ全世界ニ及ブコトノ大ナル思想ヲ宣言シハリストスノ教會ハ最初
 ヨリ民ノ一般ノ合一ヲ得ルコト福音ガ全世界ニ一般ニ弘マルコトヲ

以テ其至大ナル問題ト爲セリ、凡テ此諸事ニ於テ一個人ト族トノ關係
 ヲ破ルベキ褊隘ナル孤獨主義ヲ果ノ見ルコトヲ得ベキカ、社會上ノ關係
 ニ於テハハリストス教ノ作善有益ナル効用ハ其價值料ル可ラザルナ
 リ、先ツハリストス教ノ家族ヨリ説起サシニハリストス教ハ父母ノ權
 利ヲ神聖視シテ父母ノ子ニ對スルデスホテイスム壓制ヲ滅絶セリハリストス教ハ婦
 人ヲ保護スルニ凡ソ其處女タリ母タリ又ハ夫婦タルノ身分ニ拘ハラ
 ズマ、其世ニ在テ貞潔高尙神聖ナルベキ所ノ者ヲ以テセリ、ハリスト
 ス教ハ婚姻ヲ以テ機密ノ位ニ升セリ彼ハ生活ノ種類ヲ選ブノ權ヲ「ハ
 リステアニン」ノ自由ニ一任シテ此機密ヲ各人ノ爲メニ必ズ行ハザル
 ベカラザル者トハ宣示セズ然レドモ又一方ヨリハ修道士タルコトヲモ
 各「ハリストアニン」ノ爲メニ必ス果スベキ德行ノ位ニ升セザリキ曰ク
 『容ル、コトヲ得ル者ハ容ルベシ』ト人類ノ社交上ノ範圍ニ至テハハリス

トス教ハ古昔異邦ノ賢哲等ガ夢ニモ見ザル程其關係ヲ堅メ且高尙ニシ之ヲシテ尊貴良善ナラシメタリ異教ハ總テ婦人ヲ以テ人間ノ下等ノ段階ニ立テタリハリストス教ハ婦人ノ道德上ノ價位ヲ高尙ニセリ異教ハ兒女ヲ輕蔑シ金ノ爲メニ賣リテ奴婢ト爲セリハリストスハ兒女ヲ立テ、愛ト謙遜ノ表號ト爲シ之ヲ誘フテ其無玷ナルヲ破ルノ各人ニハ擬スルニ磨石ヲ頸ニシテ深海ニ溺ルノ苦ルシキ運命ヲ以テセリ異教ハ下賤黎輩ノ者ヲ不面目ナル格ニ拘シ傲然蔑視シテ之ヲ嗤笑セリハリストスハ常ニ下輩ノ中ニ在リテ其ハリストスヲ信ズル最微賤ナル者ヲ助ケ之ヲ以テ神ノ子輩ト爲セリ自ラモ有罪ナル異教ハ有罪者ニ對シテ無慈悲殘忍ナリハリストスハ救世主トシ又罪人ノ友トシテ現ハレタリ異教ハ其最良ナル代表者ニ於テモ奴隸ヲ拘束シテ之ガ辞ヲ作レリハリストス教ハ古昔ニ於テ義トナセシ所ノ主義ヲ大半

破壊シテ之ヲ廢滅セント預備セリ希臘人及ヒ羅馬人ハ職工ヲ待スルニ極メテ輕賤ヲ以テセリハリストス教ハ主及ヒ主宰ガ自ラ地上ニ在リテ世ニ賤辱セラレタル尋常職工ノ業ヲ選ビシヲ常ニ記憶シツ、其如何ナル種類ニ論無ク凡ソ尊正ナル勞働ヨリ其負フ可ラザル所ノ汚辱ノ點ヲ抹殺セリハリストス教ハ最初ヨリ其高尙ナル説明ヲ以テ各人ノ爲メニ尊正ナル勞働ノ緊要ナルトト其價值トヲ示セリ曰ク『勞働セザレバ食ハザルベシ』トトフェイ甘一ノ廿八參考廿ノ三、六ト勞働スルトト祈禱スルトトハハリステアニンノ生活ノ徽號トナレリハリストス教ノ主教等ハ自ラ耒耜ヲ執ルヲ耻ト爲サバ^{スキク}リキ^{スミナキ}ワエテダイクトハ毎日六時間ツ、耒耜ヲ執リテ働ケリ燒炭ノ業ハ敬虔ナルアレクサンドルヲ選ビテ主教ノ位ニ昇スヲ妨ゲザリキハリストス教ハ人間ノ開化ト文明トヲ高尙ニシ且常ニ之ヲ高尙ニセリ此ヲ受ケザルハタゞ其最

頑固ノ敵ノミナルベシ彼ハ何處ニ入ルモ到ル處開導開化ノ光ヲ現ハシテ人間ノ生活ノ情狀ト道德上ノ天性ヲ益善良ニセリ、モシハリストス教ヲ以テ今日存スル所ノ或ル他ノ教法ニ比スレバハリストス教ノ道德ノ秀出ハ凡ソ公平無私ナル人ノ必ズ無限ニ承認スル所ナルベシタゞ夫ノハリストス教ノ世界ノ外ヲ見ヨ即チマゴメト教ノ世界若クハ支那若クハ印度ヲ見ヨ宗教上ノ禮儀ニ於テモ人間ノ風俗ニ於テモハリストス教ガ未ダ入ラザル所ノ地ハ何處ニ於テモ最壞乱ナル觀ヲ呈セントス、ラワエレ氏曰ク『社會ノ問題ヲ了會シ之ガ解釋ニ助ケンコトヲ欲スル者ハ右手ニ政治經濟ノ書ヲ執リ左手ニ學理的社會主義ノ論文ヲ持シテ直ニ其前ニ繕キタル新約書數葉ヲ置クベシ、政治經濟ノ法ハ解剖ノ役目ヲ演シテ吾人ニ社會ノ体ノ構造ヲ證シ社會學ハ病ヲ解明スルノ病理論ニシテ福音經ハ治療ヲ施スノ醫法ナリ』

ハリストス教ノ神髓ヲ正シク了解シ且之ヲ定メント欲セバハリストス教ハ其來由ヲ全ク其創立者ノ神タル品位ニ歸スルニ着目センコトヲ要ス、彼ハ其内部ノ精神ニ於テハ神タル品位ノ活象ヲ佩ビテ其創立者ノ神ナル性質ト相應ズル所ノ理線ヲ表出スルナリ、ハリストスノ教ハ第一完全ニシテ包括セザル所無シ彼ニ於テハ偏固又ハ缺乏ノコトハ毫モ有ル無シ故ニ彼ハ凡ソ他ノ宗教ノ如ク改良スベキコトノ責ヲ受ケズ、タゞハリストスノ教ハ宗教ノ眞實ナル神髓ノ無限ニ充滿ナル實成ト凡ソ宗教ノ眞成根本タル元素ノ最完全ナル形居ヲ顯ハス、故ニ宗教ト云フノ言ハ其包括セザル所無キノ旨趣ヲ以テ唯彼レ一ツニノミ適當セリ、吾人ハ他ノ宗教ニ於テハ宗教ノ觀念ノ十分ナル實成ト其最大ノ要素タル信ノ教ト行ノ教又ハ奉神禮トノ間ノ調和ナル關係ヲ見ズ、反テ凡ソ他ノ宗教ハ多少缺乏ヲ有シ且偏固ナリ、彼等ニ主タルハ若シ缺乏

ニアラズンバ則偏固ナリ例ヘバ希臘人ノ宗教ニ於テハ其諸神ニ關スル鬼神誌的ノ教旨ハ大ニ發達シタレドモ之ガ祭司タル者ハ道德ノ教ヲ宣示セザリキ佛教ハ道德ヲ教フ然レドモ神ノ事ヲ緘黙ス羅馬ノ宗教ニ於テ傑出スル者ハ外儀ナリ然レドモ其外儀ハ高尚ナル宗教上ノ教化トモ又其心靈建徳ノ事トモ毫モ合ハザリキ故ニ古昔羅馬ノ作者等[Dio Chrysostomus, Orat.³三百九十一頁以下ブルタルフノAmator³四百六十九頁]宗教上ノ問題ヲ釋クガ爲メニ就正スベキ所ノ人類ヲ算フル時ハ祭司ヲ名イハズシテ詩人ト哲學者ト立法者トヲ稱セリハリストス教ハ凡テ吾人ノ成立即チ心靈上ヲモ肉体上ヲモ共ニ包括セリ彼ハ吾人ノ一家ト社會ト政治上ノ關係ヲ神聖ニス彼ハ人ノ心靈上ノ生活ノ要求ヲ全ク満足セシム是レヅハリストス教ノ眞ノ神髓ノ在ル所ナリ今ノ世ニ當テ世界ノ爲メニ新ナル宗教ヲ造ラント企圖スル者アリヲ

ギョストコントハ新ナル宗教ノ組織ノ圖形ヲ描畫セリ然レドモ敏捷公明ナル注意ニ依レバ此組織ニ於テ凡ソ合理ナル者ハ新軌軸ナルニアラズシテ凡ソ新軌軸ナル者ハ合理ナルニアラズト云フ『他ノ爲メニ生活ス』トノ彼ノ徽號ハ美ナル徽號ナリ然レドモ是レ豈近者ヲ愛ストノ主義ヨリ美ナリトセンヤ又『他ノ爲メニ生活ス』ト云フ冷淡索漠ナル定式ハハリストス教ノ誠命ニ『近者ヲ愛スル』ト已ノ如クスペシ』ト云フヨリ妙絶ナリトセンヤ神ヲ信ズルノ信仰ヨリ離レツ、ハリストス教ノ希望ノ神通的ノ力ト体合スルヨリ分レタリ是レ此ノ利他主義ノ新式ノ規則ハハリストス教ノ愛ノ事ニ於ル活潑靈動ノ教ト比スレバ死法ナルニアラズヤ最近實驗主義ノ宗教ハ不死ノ代リニ總合ノ觀念ニ沒スル無情無心ナル成空ヲ約ス祈禱ノ代リニ聽カレザルノ耳ニ向テ想像的ノ祈願ノ虛偽ヲ設ク父ト子ト聖神ノ代リニ新ニ抽象的ノ三者ヲ

入レントス人間ト世界ト空間ト是ナリ是レ皆最近ノ哲學ガ人ヲ世界ト良心ト神トニ和睦セシムルノ宗教ニ代ヘテ發明セシ者即チ不幸者ノ生治ヲ樂マシメ負重者ヲ感動セシメ沈淪者ノ爲メニ救ノ門ヲ啓ク所ノ宗教ニ代ヘテ發明セシ者ナリ

ハリストス教ノ神髓ヲ愈々顯彰スルガ爲メニ少シク詳細ニ入り其根本ノ眞理ヲ表示スベシ

ハリストス教ハ定理ノ合纂ニアラザルナリ箴語ノ開列ニモアラザルナリ種々殊異ノ元素ノ銷鎔ニモアラズシテ乃チ新ナル教ナリ而シテタゞ其信ノ理ト行ノ教ノ新ナル組織タルノミナラズ人ノ生命ト活動ノ新ナル元素ニシテ神ノ創造ノ印象ハ其上ニ在リ其各部ノ眞理ノ一モ其各部ノ道德ノ規則ノ一モ是ヨリ先キ未タ曾テ在ラザリシモノナ

リトハ謂フコト能ハズ反テ其諸ノ條規中既ニ箴語ノ類ニ於テ古昔ノ世界ニ知ラレタル者多シ然レモ要スルニハリストス教ノ新軌軸タルコトハ争フ可ラズ彼ニ於テハ他ノ諸ノ宗教ノ各孤立セシ所ノ者相合シ他ノ分離シタル所ノ者相和スルナリ新約ノ啓示ノ自主獨立ナルコト其神髓トヲ愈々吾人ニ詳明スルハリストス教ノ根本ノ眞理ハ大ニ吾人ヲシテハリストス教ノ全ク高尚ナル不羈獨立ヲ確信セシメントス新約ニ於テ舊約ト比シテ眞成ニ新ナル者ハ果シテ何ナルカハリストス教ニ於テ舊約ノ教ト比シテ新ナル者ハ盡クニアラザルコトハ勿論ナリ然レモ新約ニ於テハ其舊約ノ教ヨリ受ケシ所ノ者ヲモ省カズ盡ク深ク成全シタル有様ヲ以テ現ハル、ナリ舊約ト新約ニハ其ノ兩約ニ一般ナル定理上若干ノ眞理有ルコト論ヲ俟タズ例ヘバ神ノ實體ノ一ナルコト神ノ性質ノ事創造ノ事神ノ照管ノ事人ノ起原ノ事人ノ元始ノ

境遇ノ事、陷墜ノ事等ニ關スルノ教義是ナリ、然レモ此諸眞理ハ新約ニ於テハ愈々明ニ愈々確ニ且愈々靈ニシテ神人同形主義ヨリ愈々自由ヲ得テ現ハル、ナリ、舊約ニ於テモ神人同形主義ヲ以テ神体ニ於ル人様ノ象表ヲ假定セザルコトハ勿論ナリ、然レモ其神人同形主義ハ神ノ本性ノ靈ナルコトノ觀念ヲ遮蔽セリ、此觀念ハイイススハリストスノ「神ハ靈ナリ」之ニ拜スル者ハ靈ト眞實トヲ以テ拜スベシ「イヲアン」四ノ廿四トノ言ニ於テ凡ノ遮蔽ヲ攘除シ純然タル光輝ヲ以テ現ハル、ナリ、他ノ啓示ノ眞理ノ一道ハ舊約ニ於テハタゞ隱然トシテ顯ハサレ或ハ唯其萌芽ノ中ニ含有スルノミナリ、彼ノ諸眞理ハ人ノ注意ヲ起シ回想反省ヲ喚起セリ、然レモ是レタゞ希伯來民ノ爲メノミナラズ猶太ノ司祭ノ爲メニモタゞ其疑察ノ点トナリ得タルノミナリシ、例ヘバ三一神ノ眞義ニ於ル舊約ノ指示ト神ノ言ノコトノ類ノ如キ是ナリ、此等ノ眞理ヲ顯彰スル

ニ於テ舊約ノ啓示ノ漸々發達進行スルト共ニ新約ノ啓示ノ愈々近ツクニ隨ヒ舊約ノ教義ニ於テモ疑モ無ク進步ガ顯ハル、ト雖愈々明了ニシテ且全ク精確ナル説明ハ全舊約ノ中ニハ見エザルナリ、舊約ニハ聖使徒パウエルガ言フ如クハリストスガ舊約ヨリ取去レル帕ノ在ル有リ「コリンフ後書三ノ十四」此等ノ眞理ハハリストスニ賴リテ明亮ニ顯ハサレタリシガ舊約ノ預言者ニハ隱サレタリキ

新猶太教ノ學士等斷定シテ舊約ニハ凡テ三一神ニ關スルノ眞義ヲ指示セシコト毫モ有ル無ク曖昧ノ指示ト雖有ル無シト云フハ非ナリ、舊約ハ最初ヨリ之ヲ言ヒ後ニ至テハ極メテ廣ク且長ク常ニ其高尚不可思議ナルニ能力即チ神ガ世界ニ於ルト特ニ人間ニ於ル關係ノ中保者タル神ノ言ノ事ト神ノ靈ノ事トヲ言フ、此ニ能力中秀出ヲ或ハ彼レニ歸シ或ハ此レニ歸シ一者ハ他者ヨリモ多ク顯ハレタリトハ謂フコト能ハズ

取モ直サズ彼等ハ互ニ平等一様ニシテ比類無ク高ク神ト神ノ造物タル世界及ヒ人間トノ間ノ中保ノ爲メニ無限ニ緊要ナル者トシテ顯ハサル、ナリ、然リ而シテ神學汎論ハ凡ソ神ニ於テ位ニ三ツアルヲ指示スル舊約ノ諸條ヲ引証スベキノ處ニアラズ是レハ定理神學ノ事ナリ神學汎論ノ問題ハ夫ノ舊約ニハ彰サレズシテ新約ニ於テ顯サレタル聖三者ノ事ニ關スル定理ノ重キヲ表證スルニ在リ、新約ヲ以テ表明セラレタル奧義ハタトヒ十分完全ニハ悟リ得ラザルモ人智ヲ以テ悟リ得ラルベシ又他ノ吾人ノ智力ノ爲メニ近ツク可ラズト雖吾人ガ無疑ノ眞理トシテ受ルヲ得ル所ノ奧義ト比較スルニ依テ辨明保護スルヲ得ベシ例ヘバ至聖三者ノ事ト人体ヲ藉ルノ事ニ關スルハリストス教ノ定理ノ如キ是ナリ、此定理ハ深遠ナル推理上ノ價值ト深遠ナル道徳上ノ價值ヲ有シ終リニ又最重要ナル開明的ノ價值ヲ有スルナ

リ、吾人ハ今此三方ヨリ此定理ヲ觀察スヘシ、聖三者ノ事ニ關スルハリストス教ノ教理ノ推理上ノ價值ニ至テハ彼ハ先ツ唯一神教ノ概念ヲ潔淨高尙ニスルニ在リ、聖三者ノ事ニ關スルハリストス教ノ教理ハ三神教ナルニアラズ即チハリストスノ教會ガ直チニ斷定シテ罪ト爲シタル三神ノ教ニアラズ、、此教ハ唯一神教ノ一種特別ノ種類ヲ顯ハス然シテ此ノ如キ深遠高尙潔淨ナルモノハ吾人ハ他ノ唯一神教ノ如何ナル門派ニ於テモ見ザル所ナリ、三者ノ事ニ關スルハリストス教ノ教理ニ於テ實在眞成至要ナル者ハ神体ノ一ナルヲニ關スル舊約ノ教ヲ全ク傷ハズシテ守リツ、至聖三者ノ定理ヲ顯彰スルヲ以テ神体ノ一ナルヲノ教ニ附スルニ唯一神教ノ一ノ門派ニモ絶テ有ル無ク且有ル能ハザル所ノ眞ニ高尙ニシテ且大ニ道徳上ナル品格ヲ以テシタルニ在リ、唯一神教ハ若シタゞ一ノ神体ヲ認ムルヲ謂フノミナラバ此

教ヲ傳フル宗教ノ高キヲ未ダ大ニ言フ能ハザルハ無論ナリ、吾人ハ其崇敬ヲ一ノ偶像ニ施ス者ヲ以テ高キ宗教ト認メザルベク又此ノ一ノ崇拜ニ與フルニ數多ノ偶像ヲ崇拜スルニ對シテ更ニ大ナル重ミヲ以テセザルヲモ論ヲ俟タズ、唯一神教ノ價值ハ一ノ神ヲ認ムルノ一事ヲ以テ定メラル、ニアラズシテ^{オモ}首ニ其ノ一ノ神ニ歸スル所ノ性質ヲ以テ定メラル、ナリ、ハリストス教ハ至聖三者ノ教理ヲ以テ唯一神教ヲ高メテ形而上ト道德上ノ鞏固ナル地面ニ立タシメタリ、古昔ハリストス教以前ノ或思想者モ最上ナル實體ノ一タルヲノ觀念マテ達シ得タルヲハ哲學ノ史ニヨリテ人ノ知ル所ナリ、然レモ彼等ハ其最上ノ實體ガ世界ノ關係以外ニ於テノ生活及ビ活動ハ何ニ於テ顯ハル、カ之ガ疑問ヲ決スルヲ能ハザリキ、是ヲ以テ彼等ハ或ハ神ノ生活ト本質トガ世界ニ永遠ニ顯ハル、ヲ認ムルノ凡神教ニ陥リ或ハ一ノ神体ガ消

融シテ寂然不動死スルガ如クナルノ獨一ト爲リ自己ニ自鎖籠閉スルノ元始ト爲ル所ノ枯淡ナル自然教ニ陥リ又ハ不變不怒ノ法ヲ以テ一切萬物ニ主タル所ノ慘烈ナル運命論ニ陥リキ、タゞハリストス教ハ至聖三者ノ定理ヲ顯彰スルヲ以テ古昔神体ニ關シテ神ノ一タルヲ見解ヨリ出テタル宗教ト哲學ノ教ガ蹉跌セシ所ノ大ナル磐石ヲ排除セリ、彼ハ此定理ニ由テ吾人ニ左ノ真理ヲ開示セリ即チ本性ニ於テ一ナル神ト無限ナル靈ハ其自己ノ存在ノ具體的象樣ヲ有ス故ニ神ガ世界ニ關係スルノ外ニモ神ノ三位ノ實體ニ於テ吾人ノ爲メニハ知ルベカラズト雖、内部ノ生活ノ無限ノ充滿顯ハルト、ハリストス教ハ此ノ如ク至聖三者ノ定理ヲ以テ神体ノ一ナルヲニ關スル古昔ノ教ニ比スレバ殊ニ大ニ人間ノ靈性ノ純ヲ推理的ノ要求ヲ満足セシメタリ、彼ハ三位ノ秘義ノ蘊奧ヲ説明セズ然レモ吾人ノ智力ノ爲メニ神ノ實體ニ關シ

テ他ノ如何ナル唯一神教ノ門派ノ主見ニ依テモ説明スル能ハザル所ノ者ヲ顯彰ス即チ神ノ實體ニハ自立シテ世界ニ拘ラザル内部ノ生活的活動ノ在ル有リテ其活動ノ顯ハル、ガ爲メニハ要契有ルコト是ナリ、至聖三者ノ事ニ關スルノ秘義ハ是レ其ノ神ノ内部ノ深遠ナル實體ヲ悟ルニ於テハ人ノ爲メニ勝ツ能ハザルノ難キヲ顯ハスハ論ニ及バズ然レモ一位ノ神ノ事ノ教義ノ難キモ如此ノ難キト比シテタトヒ大ナリトハセザルモ要スルニ小ナリトハ謂フ可ラズ、己ニ『一位』ト云フコトノ見解ハ是レ其吾人ノ智力ニ於テ一個ト云フノ見解ノ之ト離レズ合スル有リテ有限ナルコト『獨身ナルコト』自閉ナルコト等ノ見解ヲ合スルナリ、此見解ハモシ之ヲ神ニ適用スルヤ許多ノ解ス可ラザル疑問ニ入ラントス故ニ古昔教會ノ或教師ハ三一神ノ事ニ關スルハリストス教ノ教義ガ一位ノ神ノ事ノ教ニ秀出スルハ純ラ形而上ノ關係ニ在ルヲ示シテ

ハリストス教ノ意見ニ依レバ、*„Deus solus, sed non solitarius”*（「一トルハリシログ *„sermo”* 六十）即チ神ハ一ナリ然レモ一位ニアラズ若クハ實驗的ノ意見ヲ以テ言フ所ノ獨身ナルニアラズト云フ然レモ至聖三者ノ事ニ關スルハリストス教ノ教義ガ神体ノ一ナルコトニ關スル古昔ノ教義ニ對シテ秀出スルハ唯純ラ一ノ思辨上ニノミ在ルニアラズ彼等ニ對シテ測ル可ラザル道德上秀出スルハ更ニ重要ノ事ナリ、三者ノ奧義ヲ以テハリストス教ハ人間ニ神ヲ尊ビ其前ニ虔恭スルヲ教ヘシノミナラズ神ヲ愛スルコトヲモ教ヘタリ、此奧義ヲ以テハリストス教ハ神ハ愛ニシテ愛ノ汲盡ス可ラザル源泉ナリトノ著シキ觀念ヲ世ニ導キ入レタリ、此關係ニ於テ古昔西ノ教會ノ教師ノ講明スル所ノ者ハ深ク且信誠ナリト謂フベシ曰ク『ハリストス教ノ三者ノ奧義ハ神ノ愛ノ奧義ナリ汝ハ若シ愛ヲ見バ三者ヲモ見シ』*„De Trinitate”* 八ノ十

二、六ノ五、九ノ二三三者ノ奧義ハ是レ先ツ吾人ニ神ノ愛ガタゞ其創造ヨ
於テ萬物ニ現ハレ又ハ其存在及ビ生命ヲ賜フト世界ノ事ヲ照管スル
トニ於テ現ハル、ヲ教フルノミナラズ其愛ガ神体ノ懷ニ於テ完全無
限ノ充滿ヲ以テ現ハルベクノ世界以前ノ永遠ヨリ愛ノ生活ト父ト子
ト聖神ノ聖ナル愛ノ永遠ノ親與ノ顯ハレシヲ教フルナリ、古昔ノ宗派
ノ枯淡ナル唯一神教ハ神ノ三者ナルトノ啓示ノ觀念マデ上進セズ故
ニ神ノ愛ノ眞實ナル見解マデ上進スルト能ハザリキ、或推究者レナン
及ヒ其他記認シテ云ヘルト左ノ如シ他ニ比スレバ愈酷ニ且愈頑ニ神
体ノ唯一ナルトニ偏倚スル所ノ唯一神教ノ模型ハ三者ノ事ノ教ニ遠
ザカリツ、神体ニ關シテ大ニ嚴刻無情ノ想考ヲ表出スルノミナラズ
彼等ハ神ノ根本ノ性質ニ遠ザカルヨリモ受ノ觀念ニ愈大ニ遠ザカリ
并セテ又其宗教上ノ容忍ニモ遠ザカレリト、此記認ニ於テ正義ノ著ル

シキ部分ヲ認メザル能ハス、愛ハ其精神ニ依レバ他ト親與スルニ向フ
ニ外ナラズ故ニ愛ハ其銘々ノ關係ト其相互ノ親與ノ外ニハ思フト能
ハザルナリ、愛ノ眞成ノ性質ハ此ノ如シ、誰カモシ其愛ハ單ニタゞ自己
ニ歸スルノミナラバ其人ヲ以テ適當信實ニ愛ヲ有スト謂フベカラズ
是レ自愛ト名クベシ、然ルニ神ハ一ノ個位ナリトノ想考ニ於テハ神ノ
愛ガ變シテ自愛トナルトハ殆ド免ル能ハザルナリ、此ノ如クナレバ神
ノ愛ガ歸スル所ノ獨一ノ點トシテ顯ハル、ハ世界ナリ然レモ世界ハ
神ノ永遠ナルガ如ク永遠ナルニアラズシテ其存在モ常ナラザル唯一
神教ノ諸派ガ認ムル如クニ拘ラズ世界ハ有限ナルニ緣リ神ノ無限ナ
ル愛ハ極メテ無限ナル充滿ヲ以テ世界ニ現ハル、能ハザルナリ、此ノ
如ク至大ナル愛ノ十分ニ現ハルガ爲メニハ其愛ノ歸スル所ノ至大ナ
ル標的ヲ要ス、故ニモシ神ノ位ハ一ナラバ彼ハ已ヲ愛スルヲ得ベキト

全ク當然ナリ即チタゞ獨リ自己ノミヲ愛スベシ、凡ソ三者ノ事ヲ認メザル唯一神教ノ門派ノ爲メニハ神ノ愛ハ世界以前ノ永遠ニ在テ何ニ於テ顯ハル、カトノ問題ハ無限ニ解スベカラザル問題トシテ現ハル、ナリ、如此ノ門派ニ於テ此問題ニ對スルノ尤善キ答辨トシテ現ハルベキモノハ神ノ世界以前ノ存在ノ奧義ハ人智ノ爲メニ測リ知ル可ラズトノ謙遜ナル承認是ナリ、獨リ個位ノ神ノミヲ崇敬スル者ヨリ此疑問ヲ決セントスル企圖ノ著ハル、ヤ往々神ノ實體ト應ゼザル所ノ或粗大ナル見解ノ必ズ顯ハル、トハ避ク可ラズシテ此決定ニ於テ大抵常ニ主トシテ現ハレシハ左ノ想考ナリ即チ神ハ世界ヲ造ルノ前ハタゞ己ノミヲ愛セリタゞ其己ノ完全ト己ノ威嚴ノミヲ冥觀スルヲ爲セリト云フ是ナリ、タゞ聖三者ノ奧義ハ吾人ヲシテ人智ノ爲メニ圍ム能ハザル神ノ實體ノ深キヲ全ク參知セシメザルモ至聖三者ノ本位ノ神々

ル永遠ノ親與ヲ指示シツ、吾人ヲシテ神ノ愛ハ未ダ會テ活動セザルニアラズ未ダ會テ現ル、ト無ウシテ存セズ未ダ會テ自愛トナラザルヲ了解セシムルナリ、此奧義ハ之ト并セテ神体ニハ常ニ愛ガ充滿ノ顯ハル、ヲ得ベキトト神体ニハ未ダ會テ愛スル者ト愛セラル、者ト神ノ愛ヲ連絡スルノ靈トニ乏キトアラズトノ指示ヲ吾人ニ與フルナリ此ノ如ク理解スルトモ又説明スルトモ能ハズシテ單ニタゞ其人智ノ謙遜ノ爲メニノミ明ニ顯ハサル、トモ謂フベキ所ノ三一神ノ奧義ハ吾人ノ爲メニ神ノ至高ナル道德上ノ性質タル愛ヲ了會スルガ爲メニ標柱トナラントス、終リニ凡ソ人間ニ於ケル神ノ愛ノ深キトモタゞ此奧義ニ頼テノミ吾人ノ爲メニ明解セラルベクシテ救贖ノ事ニ關スルハリストス教ノ教義ハ之ヲ以テ其基址ト爲スナリ、ハリストス教ハ神父ガ人間ヲ救フガ爲メニ其獨生ノ子ヲ犠牲ニスルト吾人ヲ贖フガ爲

メニ神ノ子ガ甘ンシテ苦ヲ受ルト吾人ノ稱義ト潔淨ヲ得ルガ爲メニ
 聖神ヲ降ストニ於テ愛ノ至高ナル標準ヲ顯ハシツ、之ヲ以テ神ノ事
 ニ於ル人間ノ觀念ヲ大ニ慰藉シ且高貴ナラシムルナリ、ハリストス教
 ハ神ヲ以テタゞ其罪人ヲ罰スルニノミ應ズル所ノ怖ル可キ人ヲ恕セ
 ザルノ實體トシ且主宰トスル古昔ノ觀念ヲ排除シテ此觀念ニ易フル
 ニ神ヲ以テ全人間ノ富愛ノ父トスルノ教ヲ以テセリ、此ヲ以テハリス
 トス教ハ神体ノ事ニ關スルノ理解ニ入ル、ニ實ニ新ニ且大ニ高尙ニ
 シテ古昔ノ世界ニハ未ダ曾テ知ラレザル一遺ヲ以テセリ、神ノ人ニ於
 ル父タル關係ノ事ト人ノ神ニ對スル子タル關係ノ事ノ教義ハ亦此ニ
 基ツケリ、ト此教義ハハリストス教ヲ奉ズル人間ニ仁愛ノ觀念ノ發達
 ニモ凡ソハリストス教ノ開化ノ性質ニモ廣大ナル感勢ヲ及ボシテ愛
 ヲ以テ德義ノ根本ト爲シ人類ノ爲メニ其相互ノ關係ニ於テ誘導スル

所ノ道德上ノ基址ト爲セル道德上高貴ナル理解ヲ有セシメタリ
 夫レ然リ至聖三者ノ事ニ關スルハリストス教ノ定理ハ如何ナル高尙
 ノ價值ヲ有スルカト是レハリストス教ノ首要根本ノ定理ナリ吾人ノ
 福音經ト吾人ノ信經ノ具成ノ綱紀ナリハリストス教ノ冠冕及ビ光榮
 ナリハリストス教ノ仁愛ノ源泉ナリハリストス教ノ開化ノ前頭旗幟
 タルナリ

モシ夫レ吾人ハ至聖三者ノ第二位ガ人。体ヲ籍リシ。トニ於ルハリスト
 ス教ノ教義ヲ緊要ナル注意ヲ以テ分析スレハ此教義ハ全ク抽象的ナ
 ル者ノ如ク見ユルニ拘ラズタゞ其一ノ深遠ナル推測的又ハ形而上的
 ノ價值ヲ有スルノミナラズ包括セザル所無キ道德上及ヒ作善ナル開
 化ノ價值ヲモ有スルナリ、彼ハ人間道德上ノ意識ヲシテ其古昔ノ世界

ニ於テ上進セズ且上進スル能ハザル所ノ高點ニ上昇セシメタリ、教會古昔ノ或教師ハ此與義ヲ左ノ如ク顯ハセリ曰ク「人体ヲ藉ルノ秘義ヲ以テ神ハ人ヲ神マデ昇スガ爲メニ人マデ降レリ」ト人ノ道德上ノ貴キト人ノ爲メニ人間ノ生命宇宙全世界ノ生命ニ比スレバ現ニ無トモ云フベキモノノ深遠ナル價值ヲ識ルノ意識トヲシテ愈高尙ナラシメタルハ此ノハリストス教ノ深遠ナル觀念ヲ以テ生氣ヲ入ル、ニヨルニアラズシテ何ツヤ

此觀念ハ古昔ノ世界ニハ未タ曾テ知ラレザル實ニ新ラシキ觀念ナリ此觀念ハ吾人ガ古昔ノ宗教ニ於テ遇見シ特ニ「エルリニズム」ニ於テ發現シタル所謂「フエアントロピズム」人性ヲ以テ神ト爲スノ教ノ觀念トモ又「アントロポテイイズム」神性ヲ以テ人ト爲スノ教ノ觀念トモ斷シテ相合ハズ、彼レノ旨趣ハ亦夫ノ「ワイシナ」ナル神ノ化身ノ事ニ關スル印度ノ

教トモ遙ニ同シカラズ、人性ヲ以テ神トスルエルリニ人ノ教ト眞ニ神性ト眞ニ人性ガ神人ノ一位ニ於テ結合スルヲノハリストスノ教トノ間ノ眞ノ差異ハ是レ先ツ「グレキ人」ハ彼等ノ爲メニ完全ノ最巔ト爲セル所ノ人性ヲ以テ神トスルニ在リ、要スルニ彼等ハ人性ノ理想的勻和ノ發達ニ於テ人性ヨリモ更ニ善ナル者ト更ニ完全ナル者ヲ一トシテ看破セザリシガ故ニ人性ヲ以テ或神ノ性ノ如クニ思ヘリ、ハリストス教ハ理想的完全ノ事ニ於ケル人ノ意識ヲ以テ比類無キ高尙ノ點ニ昇ス、彼ハ其造物主ノ手ヨリ出テシ所ノ人性ハタトヒ理想的完全ナル者ト雖視テ以テ有限ナル本質ト爲シ神ノ子ガ人体ヲ藉ルノ作用ニ於テ神性ト人性ノ結合シタルヲ視テ罪ニ陷リシ人間ニ於ル神ノ至大ナル寬仁ト至大ナル愛ノ事ト爲シ以テ人体ヲ藉ルノ教義ニ高尙ナル道德ノ元素ヲ入レタリ、グレキ人ハ其理想シタル人間ノ本性ヲ以テ神

ト爲セリ何トナレバ彼ガ神体ニ關スル思考ハ有限ナル世界ノ外ニ出
 テズシテ實ニ人間ノ天性ハ其聰明ナル性質ト共ニ完全ノ最巔ヲ顯ハ
 セバナリ、ハリストス教ノ主眼ヨリハタトヒ最完全ナリ、凡有限ナル所
 ノ天性ヲ以テ神トスルコトハ「タトヒ是レ理想的人間ノ個位ナリトイヘ
 』」視テ以テ像教ノ精ナル者ト爲ス何トナレバ神体ハハリストス教ニ
 於テハ凡ソ有限有終ナル者ノ上ニ限り無ク高ク立テラレバナリ、古
 昔ノグレイキ人ノ思考ニ依レバ人類ハ其ノ人性ノ固有ノ完全ナル發
 達ノ境ニ至レバ自ラ「ヲリム」ニマデ升ルベク半神ノ資格ヲ以テ諸神
 ノ集會ニモ入ルヲ得ベシト云フ人ノ知ル如クグレイキ人ノ英雄ハ此
 榮ヲ享ケタリ、グレイキ人ハ嚴ニ云ヘバ此ノ如ク人類ヲ諸神マデ上昇
 セシムルニ於テ一モ人間ノ力ノ量ニ越ユル所ノ天然而上ナル者ヲ看
 破セザリキ何トナレバ彼等ノ思考ニ於テハ諸神モ自ラ大ニ完全ナル

人類ノ上ニ超出セザレバナリ是レ即チタゞ理想セシ所ノ人類ナルノ
 ミ、ハリストス教ノ世界ニ於テ此ノ如ク人性ヲ以テ神トスル企圖ノ現
 ハレシヤ如此ノ企圖ハ教會ニテ直チニ斷定シテハリストス教ノ教義
 ニ反對スル者トシテ宣示セラレタリ、故ニネストリノ異端ハハリスト
 スノ教會ニテ貶セラレタリ蓋彼ハ教ヘテ云クハリストスハ尋常ノ人
 トシテ生レシガ其後自己ノ德行ノ生活ト非常ナル聖徳ト潔淨ト無玷
 トニ由リ一言ヲ以テ云ヘバ「巴レニ人間道德ノ完全ヲ發達シテ理想ノ
 高點マデ至リシニ由リテ眞實ノ神タルニ至リ神即チ言ト位ノ合一ヲ
 爲スマデニ昇レリ」ト又「イイススハリストスニ於テ人性ヲ神性ト混シ
 タル他ノ異端モ教會ニテ斥ケラレタリ、此等ノ異端ハ古希臘ノ人性ヲ
 以テ神ト爲シ若クハ神性ヲ以テ人ト爲シタル影響ヲ受ケシコト明ナリ
 彼モ此モ共ニ教會ノ受ル所トナルコト能ハザリキ何トナレバ是レ即チ

人跡ヲ藉ルノ定理ノ高尙ナル道德上ノ價值ト又其道德上愈上進活動
 スルノ力トヲ痛ク貶黜スレバナリ、人性ヲ以テ神トスルモ神性ヲ以テ人
 トスルモ神ノ理想ノ事ニ於ル太タ高尙ナル見解トハ謂フ可ラザルナ
 リ、知ルベシ人ガ得達セントシ若クハ肖似セントスル標的ニ立ツル所
 ノ理想ハ愈高ケレバ愈人ノ發達ト進歩トニ助クベク之ト相反ソ此理
 想ハ愈卑ケレバ愈其人ヲモ卑貶シ以テ其完全精々ニ向フノ志ヲ愈墜
 墜セシメントス、人類ハ半神ノ位ニ昇ルヲ得ベシトノ希臘人ノ「思考ハ
 人間ノ驕傲心ニ媚アルヲ得タル」ハ論無シト雖彼ハ人類ノ道德上ノ
 完全ニ於ルノ深キ感化力ヲ有セズ且有スルヲ能ハザリキ何トナレバ
 彼ハ神人ノ二性ガハリストスニ於テ結合シタルトニ於ルハリストス
 教ノ教義ノ如ク人間ノ本身ノ道德上ノ意識ト道德上ノ位ノ上進ニ遙
 ニ助ケザレバナリグレイキ人ハ己ノ諸神ニ凡ノ完全ヲ歸スルニモ拘

ラズ諸神ヲ以テ多ク運命ニ属スル所ノ有限ナル者ト爲セリ蓋有限ナ
 ル者ハ弱キト不完全ノ或部分ト離レザルニヨリグレイキ人ハ神ニ属
 スルノ「ヲリムプ」ヨリ人類ノ或缺乏ト邪惡サへ省カザリキ、グレイキ人
 ノ思考ニ依レバ邪惡ガ「ヲリムプ」ニ主タルハアヒンノ平地ニ主タルト
 殆ンド同等ノ程度ナリト爲セリ「エルリニズム」ハ其諸神ニ對スルノ
 思考ニ於テ「タマハリストス」教ノ神人ノ觀念マデ上進セザルノミナラ
 ズハリストス教ニ於テ人迹ヲ藉ルノ作用ニヨリ神性ト合一ヲ爲スノ
 無罪ナル人性ノ理解マデモ上進セザリキ、凡ソグレイキ人ノ諸神ハ多
 少有罪者ナリ、是レ其ノ如此ノ諸神ヲ神ト爲シテ此ノ諸神マデ上進ス
 ルヲ人間ノ完全ノ極ト爲セル人々ノ道德上ニ不祥有害ヲ以テ反映セ
 リ「グレイキ」ノ多神教ニ於テハ道德ノ元素ヲ如何ニ顯彰センコトヲカム
 ト雖總テ此多神教ハ常ニ明ニ邪惡ヲ怨スルノ傾キヲ有シ或場合ニ於

テハ之ヲ義トスルニサヘ至リシトハ否定スル能ハズ、斯ル信教ノ門派ニ於テ人情ハ各々其神ヲ有シ情欲モ各々其代表者ト保護者トヲアリムブニ於テ有スルニヨリモシ其教育上特ニ順應ナル規程ノ偶然ナル協合有ルカ或ハ又常識ノ非常ナル力有ルニアラズンバ其高卑ノ間ニ當然ナル限界ヲ守リテ諸神ニ肖ント欲シツ、或意味ニ於テハ畜類ニ肖ルヲ免レンコトハ或ハ難カルベシ、ユピテルハ世界ノ道德ノ宰治者トシテ異邦ノ健全ナル智識ノ爲メニ醇良ナル德行ヲ擬像セシモノナルトハ論ニ及バズ然レモ彼ハ「クロノス」ノ子トシテグレチヤノ「ヨリムプ」ニ在リテタゞ其有限ナル獨權者ナリホメールノ「イリアダ」ニ明示スル如ク彼ハ屢其己ノ命令ヲ他ノ諸神ヨリ破ラル、ヲ強テ寛容セリ、此ニヨリ多神教ハ未ダ曾テ道德上ノ活潑ナル主義ヲ堅ク立テ、其主義ヲ來本多神教ニ當然ニ属スル所ノ無限ナル權ヲ以テ擁護スルコト能ハ

ザリキ事ノ左ノ如キ有様ノ爲メニ傷心シタル哲學者等例ヘバクセノハン及ヒブラトノ如キハ人々ガ純粹ノ道德ニ歸スルノ望ヲ全ク絶テリ蓋人々ハ一歳中謹教ノ生活ヲ送リシモ「ディオニス」ノ祭日ニ當レバ公衆一般醉漢トシテ現ハル、ヲ以テ要スルニ敬虔ノ缺ク可ラザル本分トナセバナリ、夫レ然リ神言ガ人体ヲ藉ルコトノハリストス教ノ教義ハ道德上ノ關係ニ於テ人類ノ爲メニ如何ニ大ニ如何ニ有力ニ且作善ナリシトハ親易キナリ、彼ハ人道ノ新組織ト道德ノ觀念ノ高尚ナル範圍トヲ設ケタリ彼ハ人々ノ本体ガ聖ニセラレテ眞ニ神ナル實體ト一タルニ至ルマデ上進スベシトノ意識ヲ人々ニ惹起セリ、人体ヲ藉ルコトノハリストス教ノ教義ノ大ナル思辨的ノ價值モ亦疑ヲ容レズ、歴史ニ忤フコトヲ欲セザル者ハ人体ヲ藉ルコトノハリストス教ノ教義ガ世々最良ナル智識ヲシテ其深キニ詣ラシムルノ堅志ヲ喚起シツ、實ニ人間

ノ思想ノ發達ニ助ケタルヲ認メントス、人体ヲ藉ル_テノハリストス教ノ教義ハタゞ道德上ト智識上ノミナラズ人間ノ生活ノ審美上ノ部分ニモ爭フ可ラザル作善ノ感化ヲ及ボセリ、ハリストス教ノ感化ニヨリテ美術ハ上進シテ愈_シ神_ニ入り煥發光輝セシ_テ疑無シハリストス教ハ古ノ異教人ガ上進シ至ラザル所ノ美ノ最高尙卓絶ナル觀念ヲ與ヘタリ而シテ彼ハ觀念ヲ與ヘシノミナラズ神人ノ本位ニ於テ此觀念ガ人ト爲レル生活充滿ナル象樣ヲモ示セリ、ハリストス教ノ意見ニ依レバ神人ハ即チ人トナレル生活シタルノ美ナリ、彼ハ神タリ又并セテ人タリツ、モシ其レ言フ_テ得バ神ト人トノ美ヲ最感動スベキ勻和ナル配合ニ於テ顯ハシツ、之ヲ自己ニ并有スルモノナリ、ハリストス教ノ美術ハ首_ニ人間ガ嘆美鐘愛シテハリストスニ向フ所ノ塑像的ノ美ニ超越シテ理想的ノ美ニ進マントス、眞實ノ詩人ト美術家ハ各々ハリス

トス教ノ元素ト共ニ神人ノ地ニ屬セザルノ美ヲ以テ生氣ヲ注セザル無シ何トナレバハリストスノ神人ノ完全ノ觀念ニハ凡テ眞ニ美ナル者ノ源泉ヲ含有スレバナリ、美妙學ノ定義ニ依レバ眞ニ美ナル者ハ實在ナル者ガ理想的ナル者ト模型ガ觀念ト勻和ナル配合ヲ爲スニ在リテ此ノ二元素ノ配合ハ神人ノ本位ニ於テ無量ナル和合ヲ以テ形ヲ藉リ最良眞實ナル實在(即チ人間ノ無玷ノ天性)ハ地ニ屬セザル所ノ神ノ理想上ノ威徳及ビ完全ト配合セリアラトン及ビプロテンハ絶大驚喜スベキノ事ヲ論シテ云フモシ人ノ目前ニ顯ハレシモノハ唯美ノ影ニアラズ又表樣ニモアラズシテ乃チ無限ナル美ナラバ人ノ靈魂ヲ捕フベシト、然リ而シテ此ノ如キ無限ナル美ノ現象ヲ顯ハスモノハ是レ即チ人体ヲ藉レル神跡ナリ、初代ノ教會ノ諸父ハ人跡ヲ藉ル_テノハリストス教ノ教義ノ高上ナル價值ニ常ニ注目セリ、彼等ハ總テ此教義ガ道德

上ノ關係ニ於テ異教ノ人性ヲ以テ神トスルノ致ニ比類無ク秀出スルヲ明ニ察見シ又此教義ガ人々ノ性情ト品行トヲ愈善良ニスルノ有能ナル變化ヲ生ズベキ所以ヲ其聰慧ノ心ヲ以テ了會セリ是レ彼等ガ異端者ヨリ異教ノ「アントロポテイズム」ト「フエアントロヒーズム」ノ混淆ヲ此教ニ入レシメテ百方企圖スルニ向ヒテ熱心ニ且勇氣ニシテ此定理ヲ捍衛シタル所以ナリ

人跡ヲ藉ルコトノ定理ニ反對スル或ル駁證ヲ分析スベシ、人体ヲ藉ルコトノ 駁證セラルベキコトハエブラル出來得ベキコトト 此駁證ハ首ニ此事ハ吾人ノ智力ノ爲メニ悟ル可ラズト云フヨリ借り來ルナリ、如何シテ言ハ人跡ヲ藉リ神ハ人トナリシヤトハ是レ懷疑學者ガ先ツ公然ト勸説シテ一モ之ニ答フルコト能ハザルベシト云フノ問題ナリ、其言ニ曰ク「神ガ人体ヲ藉ルコトハ是レ明悟ノ爲ニ無限ニ了解ス可ラザルノ秘義ナリ此秘義ハ合理ナル信仰

ガ歸スル所ノ標的トナル可ラズ故ニ或ハ棄却セラルベク或ハ盲昧ニ受ケラルベキモノナリ」ト此ニ對シテ言フベシ人体ヲ藉ルコトハ秘義タリ且奧妙タリ若クハ聖使徒パウエルガ言フ如ク「敬虔ノ大ナル秘義タルコトハ論ニ及バズ然レモ此秘義ガ吾人ノ智識ノ爲メニ特ニ「不可思議タル」ハ何ニ由テ然ルカ先ツ此問題ヲ解釋センコトヲ要ス、神ガ人トナルコトノ吾人ノ爲メニ第一秘義タルハ是レ其人体ヲ藉ルコト於テ結合ヲ想定スル所ノ神ト人間トハ本來自ラ吾人ノ爲メニ大ニ秘義タルニ由ルナリ、神ノ實體モ人ノ實體モ彼レ其物ニ於テハ吾人ノ爲メニ理解シ得ザルナリ故ニ神ガ人トナリシコトモ自然ニ必ズ吾人ノ智力ノ爲メニ秘義タルヲ顯ハス、此秘義ノ悟ル可ラザルコトハタゞ其ノ神ト人トガ吾人ノ爲メニ全ク理解セラレタルト同時ニ神ガ人トナリシコトハ吾人ノ智力ノ爲メニ全ク理解スル能ハザル者タルヲ顯ハスノ時ニ於テノミ當

然ノ理由ニ依リ受ケ難キモノトシテ擯斥スベキノ理由ト權利トヲ吾人ニ與ヘントス。他語ヲ以テ之ヲ云ヘバ人体ヲ藉ルノ秘義ハタゞ此秘義ガ神ト人トノ觀念ニ適合セザルト反對スルトヲ證明セラレテ一方ヨリハ神ノ實體ト人間ノ實體トハ吾人ノ爲メニ全ク明了ニシテ一モ不可思議ナルコトヤ不可及ナルコトヲ顯ハサハルノ時ニ於テノミ擯斥スルコトヲ得ベシ。然レモ吾人ノ知識ハ實ニ果シテ此ノ如クナルカ即チ神ノコトハ言フニモ及バズ人ノコトニ至テモ吾人ハ如此ノ知識ヨリシテ神ガ人体ヲ藉ルノコトヲ人ノ性トモ神ノ性トモ反對シテ兩立ス可ラザルモノト爲シ又能ハザルモノト爲シテ擯斥スルコトヲ得ルカ眞ノ思想者ハ一人モ神ハ其實體ニ於テ此ノ如キモノタリ人ハ此ノ如キモノタルコトヲ自ラ全ク知悉セリトハ良心ニ依レバ決シテ言フコトヲ得ズ。故ニ何人モ人体ヲ藉ルノ秘義ヲ其悟ル可ラザルノ故ニ依リ擯斥スルノ權利

アルナシ。此秘義ノ悟ル可ラザルコトノ理由ハ此秘義ノ精神ニモアリ又一方ヨリハ吾人ノ智力ノ性質ニモアルナリ蓋智力ハ有限ナルニヨリ多少其認識ニ接シ來ルノ範圍ニ於テモ己ノ爲メニ百般ノ秘義ニ遇着セントス。現ニ人ニ近クシテ直チニ人ニ關係シ直チニ人ノ觀察ニ屬スル所ノ人性論ノ範圍中ヨリ例ヲ取ルベシ。或思想者ハ神人ノ本位ニ於テ神跡ガ人間ト結合スルヲ人ニ於テ靈魂ガ肉体ト結合スルト對照シテ其彼此ノ現象ノ間ニ比論ヲ爲シツ、其不可思議ナル程度ニ於テハ二者互ニ相讓ラザルヲ看破セリ。此比較ハ或關係ニ於テハ以テ真正ト認メザルヲ得ズ。實ニ若シ人ヲ觀察シテ形ヲ藉リタル靈ト爲シ靈ト形トノ實體ト爲スナラバ人ハ吾人ノ爲メニ説明ス可ラザル者トノ顯ハル、丁神ノ説明ス可ラザルコトヨリモ易々タラザルヲ見ルベシ。如何ナル秘義ハ靈魂ト肉跡トノ不可思議ナル結合又ハ神靈ト物質トノ一致

即チ實ニ神靈ノカガ人体ヲ藉ルトモ云フベキヲ顯ハスノ一致ヨリモ更ニ理解シ得ザル者ト認メラルベキカ如何シテ此カハ躰ニ包マレツ、記憶ト思想トヲ以テ空間ト時間ノ遠隔シクル出來事ヲ洞見シ全世界ノ歴史ノ幾千載ヲモ點視シ一時ト永遠ノ限界ニ跨リテ全宇宙ヲ包容スルヲ得ベキカモシ此カハ神靈的ニ非ズシテ物質的ナリト云ハシカ然ル時ハ秘義ハ亦益秘義タラントス此時ニ於テハ更ニ愈困難ニシテ此主義ヨリ見レバ恐クハ解明スル能ハザル所ノ問題現ハレントス何ゾヤ即チ思想ト智識ノ如キ大ニ神靈的ナル者ハ如何シテ物質的ナル者ヨリ生ズルカ物質的トノ想定スル所ノカハ何ニ由リ如何ナル法メカニ由リテ理想界又ハ見ル可ラザルノ無限ナル範圍即チ其假想スル所ノ物質ノ性ト現ニ全ク同シカラザル所ノ範圍ニ趨向スルカト云ヌ是ナリ此ノ如ク吾人ハ我が神靈的ノ活動ノ爲ニ神靈的ノ元素ヲ取

テ觀察スルモ或ハ又物質的ノ元素ヲ取テ觀察スルモ終ニハ其吾人ノ我ト名ヅクル所ノ者ハ至竟固ヨリ吾人ノ爲メニ理解シ得ザルノ秘義ナリトノ成果ヲ産セントス若シ夫レ人ニ於テ靈魂ト肉体ト結合ノ有様ト其道行トハ吾人ノ爲メニ理解シ得ザルモノナルニモ拘ラズ吾人ハ愈此結合ノ事實ヲ認ムルナラバ何故吾人ノ明悟ノ爲メニ神体ト人間ノ不可思議ナル結合即チ人体ヲ藉ルノ秘義ヲ信ズルヲ能ハザルカハリストス教ハ人体ヲ藉ルニ由テ神即チ至大ナル靈ガ身体ニ變ゼリトハ云ハズ又人体ヲ藉ルニ於テ無限者ガ有限者トナレリトモ云ハズシテタゞ其人トナリシ神ノ子ノ本位ニ於テ神人ノ二性が互ニ己ヲ變ズルヲ無クシテ不可思議ナル結合ヲ爲スノ事ヲ教フルナリ吾人自己ニ於テハ大ニ殊異ナル二ノ本性即チ物質ノ性ト神靈ノ性トガ一個位ニ於テ結合セリ是レ或關係ニ於テハ神性ト人性ノ結合ヨリモ更

ニ理解シ得ザルヲ顯ハス、靈魂ト肉体ト神靈的ナル者ト物質的ナル者トノ結合ハ神靈的ナル者ト神靈的ナル者トノ結合又ハ總テ同性同質ノ物ト同性同質ノ物トノ結合ヨリハ更ニ理解シ易カラズト爲ス、神靈ノ性ト肉体ノ性トノ間ニハタゞ其位ニ差異アルノミナラズ其性質上モ相反對シテ其根本タル性質モ亦互ニ相排除スルナリ例ヘバ單純ト湊合ト測ルベキ者ト測ル可ラザル者トノ如シ、反テハリストス教ハ吾人ノ心靈ト至大無限ナル神ノ靈トノ間ニ於テ直ノ反對ヲ想定セズ、ハリストス教ハ彼等ノ間ニ階級ニ於テハ廣大ナル差異有リテ完全ニ於テハ測ル可ラザル距離ノ存スルヲ認ムレモ其本性ニ依リ又其實體ニ依レバ彼此ノ間ニ親和ナルモノ有ルハ聖書モ此事ヲ教フ云ク神ハ己ノ像ニ依テ吾人ヲ造レリト、此主義ヨリ見レバ神體ガ人間ト結合スルヲ得ベキトハ吾等各人ニ於テ神靈ト物質トガ結合シ得ルトヨリモ吾

人ノ爲メニ比較上更ニ理解シ易カラントス、神ノ言ハ教ヘテ云フ永遠ノ言ハ人間ノ性ト結合ヲ爲セリト又神ノ言ノ教ニ依レバ人間ノ本性ニハ言ト全ク相遠カラズシテ之ニ肖且之ヨリ生シタル神靈聰明ナル元素ノ在ル有リト云フ、或注解者ハ福音者イオアソガ言ニ論及シテ彼ハ已レニ來レリトノ言ヲ此意味ニ解釋セリ

神ノ事ノ教義ニ關係スルハリネトス教ノ根本ノ真理ノ價值ヲ既已ニ顯彰シタレバ是ヨリ近ク人ノ事ニ關係スルハリネトス教ノ首要ナル真理ノ重キヲ述ベントス、此真理ノ中ニ於テ根本中心タル重キヲ有スルモノハ救贖ノ事ニ關係スルハリネトス教ノ教義ニ屬ス、ハリネトス教ハ人間ノ救贖ノ事ヲ教ヘテ大ナル未來ノ問題トハ爲サズイイススハリネトスガ人体ヲ藉ルト苦ヲ受ルト死ト復活トニ由テ成就シタル

ノ事實ト爲ス、此教義ハ人間ノ爲メニ大ニ喜ブ可ク且大ニ慰ム可キハ
 リストス教ノ真理ニ屬ス、世界ノ罪ノ爲メニ大ナル祭ヲ獻シタルト
 神ノ義ヲ満足セシメタルト人ヲ神ト通和セシメタルトヲ以テ
 希望ト企待ノ範圍ヨリ眞實實際ノ範圍ニ移ル既己ニ實成シタル事實
 トスルハリストス教ノ教義ハ是レ先ツ首トシテハリストス教外ナル
 世界萬國万民ノ中ヨリ眞ニ信心アル人々ヲハリストス教徒ノ數ニ既
 ニ誘引シ且誘引シテ休マザル所ノ教義ナリ、ハリストス教ハ人が古昔
 ノ世界ニ於テ既己ニ向慕シ且搜索スル所有リシモ一モ得ル所有ラズ
 シテハリストス教外ナル他ノ宗教ガ一モ與ヘザル所ノ者ニ對スルノ
 答辨ヲ自己ニ含有ス、タゞ其贖罪主ガ十字架上ニ獻シタル大ナル「ゴル
 ゴヤ」ノ祭ノミハ全人間ニ吾人ノ救贖ノ眞實ナル「ノ保證ヲ與ヘタリ
 此ニ頼リテハリストス教ハ彼ノ猶太教モ全ク満足セシメザリシ所ノ

人間ノ靈性ノ宗教上熱切ナル要求ヲ満足セシメタリ、即チ人が神ヨリ
 離レシトト全世界ノ罪ノ爲メニ人間ニ傾カントスル天上ノ義怒ノ事
 ニ於ル堪ヘ難キ想念ノ爲メニモ破ラレザリシ所ノ神ト親密ニ体合ス
 ルノ要求ヲ満足セシメタリ、タゞハリストス教ハ其贖ハレシ所ノ人ヲ
 神ニ對スル「猶父」ニ對スルガ如ク子タルノ關係ニ立テ以テ人ノ救贖
 以前ニアリシ所ノ奴タルノ關係ニ易ヘタリ、總テハリストス教ノ德行
 ノ冠冕ト基礎トヲ成ス所ノ凡ソハリストス教ノ德行中最特殊ナル者
 即チハリストス教ノ愛ナル者ハ救贖ノ信仰ノ上ニ確立シ之ヲ以テ其
 根本ト爲スナリ、ハリストス教ノ愛ハ是レ全ク「グレーキ人ガ『エロス』ト
 云ヘル言ヲ以テ名ツケシ所ノ者ニ非ズ又唯心論者「プラトンガ『フェドン』」
 ニ於テ解釋シタル美ナル者ニ不勝ナル悦ヲ以テ崇拜スルニ根ザス所
 ノ神愛ニモ非ズ、ハリストス教ノ愛ハ羅馬人が *humanitas* 即チ「仁愛」ト云
 フラトニテ「ユスカーリ」ト云

フ言ヲ以テ名ツケタル人間ノ性ノ万人同一タルト人間ノ感趣ノ一般ナルトノ意識ニ基ツク所ノ者ニモ非ズ、此愛ハ其性質ニ依ルニ情欲的ノ愛トモ神靈上ニ關シテ全ク純然トハ云フ可ラザル神愛トモ又冷淡ナル仁愛トモ懸絶セリ、世界ノ大ナル贖罪主ノ本位ニ於テ無限ナル善慈ヲ冥想スルハ是レヅハリストス教ノ愛ノ根本トナルモノニシテ作善、施濟、矜恤ノ事業ニハ非常ナルキリキヤ勢力ヲ與ヘ道德上ノ炎情ニ對シテハ之ヲ喚起シテハリストス教ノ眞實ノ徒ニ於テ之ヲ理想上ノ高キニ恒固ニ保持スルナリ、ハリストス教ノ愛ノ宇宙的ナルト包括セザル所無キトハ此ヨリシテ流ル、ナリ、神愛ナル者ハ凡ソ人類ヲ己レニ包容スルガ爲メニハ太ダ藝術的且自愛的ニシテ其人類ニ對スル同感同情ノ版圖ハ太ダ狹隘ナリ彼ハ美ナル者ノ範圍ヲ出テズシテ凡ソ此範圍ノ外ニ在ル者ニ對シテ彼ハ冷淡ナリ凡ソ弱キ者ト助ケ無キ者ト病有

ル者ト美妙ニ反對ナル者トハ彼ノ輕侮スル所ト爲ラントス、又冷淡ナル仁愛ハ更ニ愈、實際的ナリ然シテ亦愈、自愛的ナリ、彼ハ利益ヲ第一トシテ人間ノ性ノ同一ナルヲ表面ニ修飾ス、然レモ此ノ同一ハ以テ人類ノ道德上一様ナル價值ヲ認定セズ、蓋人類ノ間ニハ天然の主眼ヨリ見レバ何ノ愛ニモ何ノ尊敬ニモ當ラザル所ノ者多シハリストス教ハ敵トイヘモ省除セズシテ衆人ヲ愛スルヲ勸諭ス是レ衆庶ハハリストスニ頼テ贖ハレタルト凡ソ人類ハハリストスニ於テ兄弟タルトハリストスハ義人ノ爲メヨリモ罪人ノ爲メニ苦ヲ受ケ十字架上ヨリ其敵ヲ堪忍シタルニヨルナリ、此ノ如クハリストスハ人ヲ愛スルノ愛ノ爲メニ人間ノ性ノ一タルニ根ザス所ノ天然ノ基址ニ加ヘテ宗教的、道德ノ深キ起因ヲ與フルナリ

終ニ未。來。ノ。生。命。ノ。事。ニ。關。ス。ル。ハ。リ。ス。ト。ス。教。ノ。教。義。即。チ。凡。ソ。他。ノ。宗。教。

ノ此問題ニ於ルノ教義ニ對シテ道德上秀出スルノ特別ヲ有スルモノハ是レ全ク贖罪ノ定理ノ上ニ確立セラレテタゞ此定理ト關係スルニヨリ「ハリスタアニン」ノ意識ノ爲メニ十分ノ感動確信ノ力ヲ受クルナリ、未來ノ生命ニ關スルハリスタス教ノ教義ハ左ノ諸真理ヲ包括ス即チ靈魂ノ不死ノ事ト死者ノ未來ノ復活ノ事トハリスタスノ再臨ノ事ト後審判ノ事ト義人ノ永福ノ事ト悔改セザル罪人ノ永苦ノ事是ナリ、凡テ此ニ數ラル所ノ真理ハ是レ全ク無限ニ新ラシキ真理ニアラズ總テ此諸真理ノ首要ノ力ハ其新設ニ在ルニアラズシテ贖罪ノ定理ト共ニハリスタス教ニ現出スル所ノ關節連合ニ在リ、彼ノ諸真理ガ此真理ト如此ノ關連ヲ爲スハ古ノ宗教又ハ哲學ノ教ノ一ニ於テモ現ハレザリキ、此ニ緣リ未來ノ生命ノ教ハ何處ニモ古昔ノ民族ノ一ニ於テモハリスタス教ノ民ガ受ケシ如クナル深遠ナル價值ヲ有セザリキ、不死ノ觀

念ハ總テ古昔ノ人ノ意識ニモタトヒ曖昧ナリト雖顯ハレシハ無論ニシテ古昔ノ哲學者ハ美妙ニ之ヲ證明セリ例ヘバソクラト及ピプラトソノ如シ、然レモ此觀念ノ道德上ノ働キハ古昔ノ世界ニハ絶テ之レ無カリキ此觀念ハ彼處ニハ切ニ心ニ容ラレズシテ人々ニ安慰ヲ得セシメタルニ僅少ナリ、此事ハ首ニ是レ其不死ノ希望ハハリスタス教ヲ以テ贖罪ノ真理ヲ報ズル以前ニハ自ラ堅キ標柱ヲ有セザリシヲ以テ説明セラルベシ、復活ノ事ノ教義ニ至リテモハリスタス教ニ於テ無限ノ新奇トシテ現ハル、ニアラズ、此ノ真理ハ異邦人ノ爲メニハ新奇ナリシハ是レ使徒パウエルガイロドアグリッパ及ビフェストノ前ニ於テ護教ノ演說ヲ爲スニ當リイイススハリスタスノ死ヨリ復活セシヲ論出スルヤフェストハ大聲ニ呼ソテ「パウエルヤ汝ハ狂ス」行實廿六ノ廿四ト云ヒシニヨリテ見ル可シ、復活ノ真理ハ此ノ開化ノ異邦人ノ爲メニモ此真理

ヲ傳フル者ヲ以テ狂人ト認ムルマデニ新奇々怪ヲ以テ見ハレシテ明
 白ナリ、是レ此ノ復活ノ眞理ハ或考究者ガ思フ如ク古代埃及人ノ宗教
 ノ意識ニモ曖昧ナル預感ノ如ク顯ハレ彼ハ全ク説明ス可ラザル或目
 的ヲ以テ死者ノ躰ヲ守レリト雖又ハ古代波斯人ノ未來結局論ノ意見
 ノ範圍ニモ入リシト雖ハリストス教ヲ以テ傳道スル以前ハ異邦人ガ
 知悉セザリシ所ノ者ナルトノ證詰ト爲スベシ、死者ノ復活ノ教ハ猶太
 人ノ信仰ノ範圍ニハ既ニ己ニ入リシト疑ヲ容レズシテハリストス教
 ノ現ハレシ時ニ當リテ己ニ猶太教ニ於テハ此教ヲ受ケタルハリセイ
 黨ト之ヲ斥ケタルサドケイ黨トノ間ニ紛論ヲ生ゼリ未來ノ生命ノ事
 ニ關スルハリストス教ノ教義ノ眞ノ特質ハ吾人ノ復活ノ眞理ヲイイ
 ススハリストスガ死ヨリ復活シタルノ事實ト接セシメタル一道ニ在
 リテ此教ガ由テ以テ組織セラル、所ノ眞理ノ新奇ナルニ在ルニハア

ラズ又此眞理ノ理論上ノ證詰ニモ在ルニアラズ「モシハリストス復活
 セザレバ」ハリステアニン」ノ信ハ徒然ニシテ「ハリステアニン」バ自ラ憐
 ムベキ人類トナルハ宜ナリ」ト云ヘル使徒パウエルノ有名ナル格言ハ是
 レ明ニハリストスノ教ニ依レバ「イエススハリストスノ復活ノ無疑ノ
 事實ハ」ハリステアニン」ノ爲メニ未來ノ生命ノ首ナル保證トナルベキ
 ヲ表ハス、此保證無クンバ「ハリステアニン」ハ亦他ノ人類ト同様希望ノ
 爲メニ如何ナル堅キ標柱モ有セザラントス、然レモ人間ヲ罪ヨリ贖フ
 ガ爲メニ活キ且死セシ者ガ己ニ死ヨリ復起シタレバ凡ソ彼ニ頼テ贖
 ハレシ者モ此事實ニ於テ一己ノ不死ト未來ノ復活ノ爲メニ活キタル
 保證ヲ有スルナリ、使徒ノ傳教ハ常ニ「イエススハリストスノ復活ヲ示
 シテ未來ノ生命ノ眞實ナルヲ信ズルガ爲メ」大ナル鉄錘ト爲セリ、使
 徒行實二ノ三十二、三ノ十五、四ノ二五、五ノ三十及ヒ其他」是レソ凡ソハリ

是レテ古ノ世界ヲ再生セシメタル使徒ノ傳教ノ神髓ナリパウロノ批評ノ慧眼ヨリ追レザル此事實ノ歴史上眞實ノ事實タルノ首要ナル證據モ亦此ノイエススハリストスノ復活ノ事實ヲ以テ使徒等ヲ感激セシメタルニ歸ス。冢子タル「ハリステアニン」ノ教會ハ全靈ヲ以テ復活ノ事實ヲ信ゼリ諸聖使徒ハ此ニ依頼シハリストス教ノ道徳ノ力ノ根本モ此ニ在リ。冢子タル「ハリステアニン」ノ此信仰ヲ拋棄スベシ冢子タル「ハリステアニン」ノ教會タル宗教上生活シタル社會ガ存在スルトモ能ハザラントス。イエススハリストスノ復活ノ事實ノ眞實ナルトト歴史上ノ事實タルノ首要ナル證據ハ此ニ在リ。イエススハリストスノ諸門徒ハ彼ノ生時ニ於テ彼ノ神タル重キヲ信ズルノ信仰ヲ顯ハセシハ無論ナリ然レモ此信ハ動ケリ至ク堅固ニハアラザリキ。是レ使徒ベトトルノ例ニヨリテ知ルヲ得ベシ彼ハイエススハリストスノ神ノ子タ

ルヲ公然ト表認シタレモ其後苦難ノ時ニ當リ彼ヲ忌ミタル事實ニヨリテ知ルヲ得ベシ。復活ガハリストスノ門徒ノ爲メニ信ズ可キノ事實トナリ無疑ノ眞理トナリシ以來ハリストスノ教ノ創立者ハ彼等ノ前ニ至大ナル奇蹟者又ハ凡ソ預言者中ノ至大ナル者トシテ顯ハレシノミナラズ獨特不可思議ノ實體トシテ人間ノ肉ニ不可思議ニ包マレタル眞實ナル神トシテ顯ハレタリパウロ言フ「イエススハリストスノ門徒等ガ師ノ死ニ逢フテ哀慟絶望シタルノ後如此ノ深キ感動ト其後五旬節ニ至テ彼ヲ「メシヤ」ト揚言シタル如此ノ炎情ト總テ如此ノ道徳上ノ全キ改變トハ是レ若シ實ニ或慰藉ス可キ出來事ガ生ズルアル無レセバ説明スル能ハザラントス。此出來事ハ是レイエススノ諸門徒ノ疑ヲ全ク散シテ彼等ヲイエススヲ信ズルニ固ムルガ爲メニ第一重要ノ事實ナリ」、如何ナル事實ハ十字架上ノ辱死ヨリ來ル所ノ怖

ル可キ感覺ヲ消滅シ得ベキヤト其ノイエススハリストスノ光榮ナル復活ノミハ此ヲ能クスルヲ得ベシ其他ハ何事モ決シ使徒等ヲ感激セシムル能ハザルナリ是レヅイイススハリストスノ復活ノ眞理ノ首ナル證話ト爲スベクシテモシ復活ノ眞實ナル事實無クシバ使徒ノ傳教ノ由來シタル原因ハ説明ス可ラザルニ歸セントス右ノ外此眞理ヲ保護スルガ爲メニ常ニ引用スル所ノ凡ノ證話ハ却テ是レタゞ福音經ニ於テ傳ヘラル、復活ノ歴史ニ關スルノ批評ノ尋問ニ對シテノ答辨ト認ム可シ

神學汎論索引

前編

前段

『宗教』ト云フ語ノ旨趣

一至十一

『レリシヨ』『宗教』ト云フ語ノ博言學上種々ナル解釋。 *relegere* ノ動詞ヨリ生ゼリト云フシセロンノ解釋及ビ彼ガ宗教ニ對スルノ意見ハ羅馬人ノ宗教ノ儀式ノ固有性ト特質トニ係ル。他ノ中世ノ或作者等ハ博言學上他ノ解釋ヲ爲シ例ヘバマクロビイノ如キハ *relinquere* ト云フ動詞ヨリ生ゼリト爲スト雖其宗教ニ對スルノ意見ハシセロンノ趣意ト同シ。語解ニ於テハシセロント同キモ精神ニ於テハ之ト異ナル西ノ基督教ノ作者ガ宗教ニ對スルノ意見即チアルノービイノ意見。 *Religio* ト云フ語ハ *religare* ト云フ動詞ヨリ生ゼリト云フ宗教ニ對スル基督教主義ノ意見

即チラクタンチイノ意見ト „religere” ト云フ動詞ヨリ生ゼリト云フ福アウグ
ステインノ意見『宗教』ト云フ語ハ „ligere” ノ動詞ヨリ生ゼリト云フ軌近ノ
解釋〔レイデロト及ビ其他〕。『宗教』ト云フ語ノ一ノ博言學上ノ旨趣ハ宗教ノ根本
眞成ノ徵候ノ哲理上ノ分解無クンバ宗教ノ神髓ヲ全ク定ムルガ爲メニ足ラザル
ノ總歸結。

宗教ノ本質

二十一至
二十六

宗教ノ眞成根本ノ徵候ハ左ノ如シ(イ)第一、個位的ノ神ヲ信ズルヲナリ。此徵候
ノ一般ナルト必至ナルトニ對スルノ難問〔佛教及ヒ凡神主義ノ理論ニ徵スル
ノ證左及ヒ此難問ノ辨破〕第二、高上ナル感覺而上ノ世界ノ有ルヲ信ズルヲナリ
、此信仰ノ一般ナルト種々ノ民族ニ於テ高上ナル世界ニ對スル思考ノ區々ナル
ヲ、第三、啓示ノ出來得ベキヲ信ズルヲナリ、此徵候ハ前ノ二ノ徵候ト關連スル
ヲ及ヒ此徵候ノ基址、第四、人間ノ靈魂ノ不死ヲ信ズルヲナリ。(ロ)人ノ宗教上

根源ノ本分タル悅神ノ生活〔宗教ノ道德ト關係〕。(ハ)宗教ノ感情ノ必至ノ顯現タ
ル敬神ノ一即チ第一ハ敬虔ニ於テ現ハレ第二ハ奉神禮ニ於テ現ハル、者。(ニ)同
信スル人々ノ必至ノ結合タル教會ノ一〔宗教ノ感情ノ天性ヲ以テ此結合ヲ促ス〕
。人ト神ノ結合タル眞ノ徵候ニ據リ宗教ノ本質ヲ定ムルノ定義及ヒ宗教ノ包括セ
ザル所無キ旨趣ニ於ルノ歸結

宗教ノ道德ニ於ル關係

廿六至
四十三

此關係ノ特ニ密着ナルヲ及ヒ此關係ヲ定ムル時ニ於テ避ケザル可ラザル誤謬。道
徳上善良ナル行爲ノ宗教的ノ價值ヲ減損スル意見ノ偏固ナルヲ〔プロテスタン
ト^{アンティノミズム}及ヒ背法論〕。宗教ト道德ノ間ノ破ル可ラザル連合ノ關係、信ト愛ノ密着ナル
關係ニ於ル聖書及ヒ教會諸父ノ教。理解ニ於テ宗教ト道德ヲ同一ニスルノ教〔佛
教、孔教、軌近ノ祇度教及ヒカント派ノ正理論〕、此教ノ立タザルヲ即チ宗教ノ感
情ト道德ノ感情ノ差違及ヒ宗教ト道德ノ異ナル首ナル^{ナモ}界線。宗教ノ要求ハ道德ノ

要求ヨリ啓發スルカ將々道德ノ要求ハ宗教ノ要求ヨリ啓發スルカノ問題ニツキ簡短ナル考説。宗教ノ權利ニ於ル關係

宗教ノ學術ニ於ル關係

四十三至五十四

此問題ニツキニツノ極端ナル意見即チ二者ヲ反對ナル者トスルト同一ナル者トスルノ意見。彼此ノ意見ニ黨スル者ノ事。宗教ト學術ト信ト知識ノ關係ヲ破ル意見ノ立タザルコト、信ト知識ハ理解ニ依レバ同一ニアラズト雖實體ニ依レバ互ニ分ツ可ラザルコト。聖書ニ知識ヲ宗教ノ必須ノ監督者トシテ指示ス。此問題ニツキ教會諸父ノ意見。宗教ガ哲學及ヒ其他ノ學問ニ關係スルコト。宗教ヲ以テ知識ノ劣等ナル模型トスル不正ノ意見。宗教ノ哲學ニ秀出スルコト

宗教ノ美術ニ於ル關係

五十四至八十四

宗教ト美術ノ同族タルコト。宗教ガ美術ノ生出ト特ニ其ノ發達ニ及スノ感勢。二者ハ其吾人ニ對スル働キニ依リ及ヒ之ヲ以テ己ノ觀念ヲ表スルノ方法ニ依レバ一ニ

歸スルコト。宗教ト美術ガ神髓ニ於テ互ニ相抵抗シテ相容レザルヲ見ントスル意見ノ不正ナルコト。「マゴメト」教及ビ或基督教ノ一派ガ美術ニ對スルノ偏固ナル意見。首家タル教會ハ如此ノ意見ト相干ラルザルコト。古昔ノ世界ガ美術ノ宗教ニ於ル關係ニ對スルノ意見。宗教的及ヒ審美的ノ感覺ノ特殊ナル性質ヨリ流ル、宗教ノ美術ト異ナルノ迥異。目的ニ依リ及ヒ人ノ神靈上ノ生活ニ於ルノ旨趣ニ依リ特ニ生活ノ道德上實際ノ部分ニ影響スルニ依リテ宗教ノ美術ト異ナルノ差違。美術及ヒ美妙的ノ快樂ヲ以テ宗教ニ易フルヲ得ベシト主張スル「ストラウス」理論ノ妄謬。人間ノ心靈ノ高上ナル意向ヲ凡テ合一スルノ元素タル宗教ノ價值及ビ人ノ爲メニ宗教ノ無限ナル緊要

宗教ノ起原

八十三至百三

此問題ノ種々ナル方面、人間ニ宗教ノ生シタル第一ノ原因ト其要求トヲ探究スル時ハ歴史ノ方ヨリ觀察スルナリ「歴史的人類學」又靈魂上如何ナルカハ宗教ノ根元

ナルカラ決スル時ハ心理ノ方ヨリ觀察スルナリ。前二方ヨリ此問題ヲ決スル學理上ノ決斷ノ不定的ノ性質。野蕃ノ人民ト兒童トヲ觀察スルハ此問題ヲ決スルガ爲メニ欠乏ナルヲ。更ニ確實ナル基址ノ必要ナルヲ。宗教ノ起原ニ對スル聖經ノ意見ニ依レバ宗教ハ外部〔吾人ノ神靈上ノ生活ノ首喚者〕ト内部〔吾人ノ靈魂ニ肖神ニ向フノ意志ヲ嘘入シタル者〕ノ確實ナル基址ヲ有ス。聖經ノ教ニハ超理論ト神秘學ノ極端ノ無キヲ。宗教ノ内部ノ基址ハ聖經ノ意見ニ依レバ一ノ或ル靈魂上ノ力ニ在ルニアラズ蓋シ宗教ノ根元ハ吾人ノ靈魂ニ在リ即テ凡ソ人ノ心靈上ノ天性ヲ包括スルノ固有性タルヲ表ハス所ノ神ノ像ニ在リ。人ノ靈魂ニ於テ神ノ像ノ重キニ對スル此意見ノ表明。神ノ像ヲ人間ノ心靈ノ天賦ノ固有トスル古昔教會諸父ノ教。宗教ノ感情ガ人ニ天賦ナルヲノ歸結。天賦ノ解。經練學者ノ難問及ヒ其決定

宗教ノ起原ニ於ル首ナル理論ノ概評

百三至
百十八

此理論ノ分割ハ左ノ如シ(イ)外部的若クハ器械的ノ理論(ロ)偏頗ナル主觀的ノ理論。又器械的ノ性質ノ理論ハ左ノ如シ(イイ)政畧的ノ理論ナリ此理論ニ依レバ宗教ハ神主又ハ政治家ノ思出シナリト云フ。此理論ノ小歴史及ヒ此理論ノ立タザルヲ(ロロ)偏頗ナル超理的ノ理論及ヒ此理論ノ立タザルヲ(ハハ)唯理的ノ理論ナリ此理論ニ依レバ宗教ハ外界万有ノ感勢ノ結果ナリト云フ、此理論ノ立タザルヲ

百十八至
百四十二

宗教ノ起原ノ問題ニ關スル偏頗ナル主觀的ノ理論

此理論ノ神髓及其種類。軌近ノ唯理論者ガ動物ノ生活ノ顯現ニ於テ宗教上ノ顯現ト遠ク相似タル者ヲ發見セントスル無効ナル經驗(ダルウイン派)。宗教ハ畏懼ノ感覺ヨリ生ズト云ヘル假定ノ分析、此假定ノ著名ナル保護者。畏懼ト虔恭トノ區別。自愛心ヲ以テ宗教ノ源始トスルフェルバフノ假定ノ立タザルヲ、自愛心ト高上ナル福樂ニ向フ意志ノ區別、此假定ノ主眼ヨリ見レバ宗教ノ部内ニ於テ答責、歸與、報酬、及ヒ人ノ惡行ノ爲メニ來生ニ罰ヲ受クルヲ〔天國及ヒ地獄〕ノ生セシ所以ハ

説明ス可ラザル。宗教ノ觀念ノ生成スルヲ人間ノ災難ニ歸スル厭世教ノ假定
〔シヨペンハワールハルトマン〕。此假定ノ分析及ヒ此假定ノ立タザル。

宗教ノ起原ニ於ル靈魂論者ノ理論

百四十二至
百五十四

此理論ノ保護者ノ事〔英國ノ人性論派〕。理論ノ神髓ハ宗教ノ起原ヲ諸靈ヲ信ズル
ヨリ生ゼリト爲シテ此信ハ夢及ヒ幻想ヨリ生ゼリト云フニ在リ。靈ノ觀念ノ
起原ト諸靈及ヒ靈魂ヲ宗教上立テ、以テ神ト爲ス。由テ來リシ起原ニ關スルノ
問題ヲ決スルニ於テ此理論ノ立タザル。此理論ニ於テ感覺而上ノ世界ノ想念ノ
生成ノ事ニ於テ想像ノ働キヲ過大ニシ夢ト幻想トニ重キヲ歸スル。動物界ヨリ
比較ヲ取ル此理論ノ不正ナルヲ證ス。宗教ノ永遠ノ眞理ハ夢中ノ幻想ヨリ生ズル
能ハザル所以ヲ總論ス

宗教ノ心理上特殊ナル機關ニ於ル諸論

百五十四至
百八十六

智慧ヲ以テ如此ノ機關トスルノ教。近時獨逸ノ哲學者等ガ感情ヲ以テ如此ノ段ニ

升サントスルノ論。ヤコービガ信ノ感情ヲ以テシレイルマヘルガ無限者ニ係屬ノ
感情ヲ以テ一種ノ宗教的本能ト爲スノ教。此等ノ教ノ欠點。聖經及ヒ心理上ノ主
眼ヨリ見レバ信ノ事ニ於テ心ハ重要深遠ナル價值ヲ有ス然レモ心一ツニハアラズ。
シレイルマヘルノ徒ガ感情ニ對スル意見ノ相投合セザル。及ヒ一定ヲ闕ク。〔或
ハ靈魂ノ諸能力ノ合一ヲ示シ又ハ心靈ノ活動ノ完全ヲ示ス〕

良心ヲ以テ宗教的生活ノ機關トスルセンケリノ理論

百八十六至
二百十五

理論ノ主義ハ良心ノ重キヲ論シ之ヲ以テ特ニ心靈上中心ノ能力ト爲シ人ニ於ル神
ノ靈ノ直接ノ坐位トスルニ在リ。良心ニ關スル聖書ノ教ノ主眼ヨリ此理論ヲ觀察
ス、此理論ノ心理上ノ缺點ハ左ノ如シ(イ)良心ヲ非常ニ理想シ(ロ)道德法ノ觀念
ヲ宗教ノ觀念ト混シ(ハ)宗教ヲタゞ一ノ本能ニ配定シ終リニ(ニ)神ノ良心ニ於ル
ト良心ノ神ニ於ルノ關係ニ對スル意見ノ主觀論ト凡神教ノ混淆。意象ヲ以テ宗教
ノ機關トスルフェルバフノ意見ノ偏頗。宗教ヲ一ノ或ル本能ヨリ引出ス理論ノ缺

點ノ總論

宗教ハ人間ニ元始ヨリ有リシ

二百十五至
二百二十八

宗教ヲ神ト人ノ恢復的ノ盟契ト了會シテ宗教ヲ人間ガ罪ニ陥リシ以後ニ歸スル神學上ノ理論。此理論ニ就テノ考説ハ左ノ如シ(イ)此ノ如キ了會ハ凡ソ教會ノ古昔ノ神父等ニハ見得ズ(ロ)宗教ハタゞ人并ニ陥リシ人ノ附屬タルノミナラズ凡ソ聰明有智ナル實體ノ附屬ナリ而シテ(ハ)人ハ陥リシ以前モ神ト宗教上ノ体合ヲ爲セリ。宗教ガ人間ニ元始ヨリ有リシヲ否定スル哲學上ノ理論及ヒ此理論ガ根據ト爲ス所ノ假定(人ノ起原ト人ノ創世ノ有様ノ假定)ノ不定ナルヲ、宗教上ノ儀式ガ創世ノ民ニモ存セシヲ證スル古物學及ヒ歴史的人類學ノ事實。創世ノ人類ノ宗教的信仰ニ於ル古傳ノ證詰。總歸結。

宗教ハ人間ニ一般ナル

二百廿八至
二百四十七

宗教ノ一般ナルヲニ於ル古昔ノ作者ノ證詰(「プルタルフシセロンアリストーテリ

及ヒ其他)。輒近ノ學者ノ討究ノ結果(「フンボリトワイッツマクスミルレル)。此事實ノ否定者ハ古昔ノエビクルノ徒及ヒ懷疑學者ト輒近ノ唯物論者併ニ野蕃人ノ人情風俗ニ於ル膚淺偏僻ナル觀察者等ナリ。此等ノ人々ガ或人種ノ無宗教ナルヲ妄リニ證スルノ表明ニ於テ論理上ノ撞着。宗教ノ一般ナルヲノ教ニ對シ無神者ガ存在スルヲヨリ借來ル所ノ難問ノ決定。

元始ノ宗教ノ性質

二百四十七至
二百六十六

此問題ニ關シ種々ナル意見ノ存在スルヲ及舊新約聖書ノ教。唯一神教ヲ唯一崇拜、一元論、凡神教及ヒ「相對的唯神教」(セルリング)「エノタイズム」(マクスミルレル)等ヨリ分ツ唯神教ノ精確ナル定義。獨一、眞實、生活、個位的ノ神ヲ信ズル眞實ナル唯一神教。舊約トハリストス教トマゴメト教ノ唯一神教ノ特質。眞實ノ宗教ノ表様タル元始ノ唯一神教ノ本質。元始ノ唯一神教ヲ利スル學理上ノ證詰ノ價値

唯一神教ノ元始ナルヲ利スルノ證話

二百六十六至
三百四

(一)總テ人間ノ意識ノ發達ト特ニ宗教ノ意識ノ發達ノ法ヨリ借來ル所ノ普通ノ想考〔更ニ複雑ナル者ハ更ニ單純ナル者ヨリ開發ス然レモ他ノ或場合ニ於テ少シク完全ナル者ハ大ニ完全ナル者ヨリ先キニ現ハル、ヲ以テ此法ニ對立ス可ラズ何ニトナレバ此難駁ノ基址ニハ總テ人ノ元始ノ有様ニ於ル先入主タルノ想考アレバナリ〕。(二)人間ノ宗教上ノ生活ノ元始ノ遺物ノ討究、古昔ハ大ニ純粹ナル宗教存シテ偶像崇拜ノ無カリシトニ關スル異邦ノ作者ノ證話〔ルキアンヘロドストストラボソタナトプルタルフワルロシ〕。(三)種々ノ民ニ於テ最上ノ神体ノ元始ノ名稱ト此神体ニ關スル想考ノ同シキヲ證スル比較言語學及人種學ノ事實〔シミト人ノ Elohim, vaal, Bel; 「アライ」人ノ Dejus(di), Deus, zeusノ類是ナリ〕。総歸結。

多神教ノ起原

三百四至
三百四十三

此問題ヲ決スルノ困難及ヒ困難ノ理由。多神教ノ起原ハ人ノ知識上ノ發達ノ天然

ノ道行ニ由リ〔ユム〕説明スル能ハザルヲ。見ユル所ノ物ヲ以テ人ニ擬スルノ本能ヨリ多神教ヲ引出サントスル鬼神誌的ノ假定〔セルリング〕。人ニ擬スル所ノ物ヲ以テ神ニ擬スル本來神學的ノ道行ハ此假定ニテ十分ニ説明スル能ハザルヲ。無生ノ物ヲ以テ有生ナル者トスル人間ノ風俗ヨリ多神教ヲ引出サントスル靈魂論者〔スベンセル〕ノ假定。凡物教ヲ以テ多神教ノ元始ノ模型ト爲スノ意見。此意見ノ立タザルヲ及ヒ其表様ニ於テ大ニ唯一神教ニ近キ所ノ模型ヲ以テ多神教ノ元始ノ模型ト爲スノ緊要。拜星教ヲ以テ多神教ノ太古ノ模型トスルセルリングノ理論及ヒ此理論ニ依リ多神教ノ發達ノ歴史ニ於ル凡物教ノ位地。此問題ヲ討究スル時ニ於テ學術上ノ要求及ヒ聖經ノ教ニ依リ此要求ヲ充分満足セシムベキヲ。外界ノ万有ガ多神教ノ發達ノ外部ノ進行ニ及シタル影響及ヒ聖書ノ教ニ於テ多神教ノ内部ノ歴史。古昔教會ノ諸父ノ意見ニ依レバ情慾ノ太甚シキ開發ト隱晦ナル力ノ影響トハ頑陋ナル像教ノ現ハレシ源因ナリ。聖經ニ依ルニ偶像崇拜ノ現出ノ時。偶像

崇拜ノ現出ニ先タチシ創世ノ時ノ事實ハ左ノ如シ(イ)人類ノ道德ノ益々愚魯ニナリシヲ及ヒ宗教ノ意識ノ傷敗(ロ)言語ノ混淆及ヒ異邦ノ鬼神誌ノ現出(ハ)種族ノ分散。

多神教ノ首ナル模型及ヒ其互相ノ關係

二百四十三至
三百九十一

〔一〕「サベイズム」〔拜星教〕ナリ、「サベイズム」ト云フ語ノ博言學上ノ説明、「サベイズム」ノ元始ノ種類、「サベイズム」ノ特殊ノ種類(マギーズム)及ヒ「ピロラトリヤ」及ヒ此教ガ生ツタル原由。〔二〕「アントロポテイズム」〔拜人教〕ナリ。其類左ノ如シ「アントロポラトリヤ」ナリ即チ或ル非常ナル特質ヲ以テ傑出スル所ノ生活ノ人類ヲ尊敬シ之ニ宗教的ノ榮ヲ歸スルナリ此例ハ「アフリカ」及ヒ「アメリカ」ノ野蕃人ニ之有リ。又死シタル先祖ヲ敬スルノ禮ナリ此禮ヲ以テ宗教ノ第一首ノ起原トスルスメンセルノ意見及ヒ此意見ノ立タザル。〔三〕動物教或ハ「ゾラトリヤ」〔動物崇拜〕ナリ。「ゾラテイズム」ハ其本來ノ旨趣ニ依レバ動物ヲ神トスルナ

リ、「ゾラモルフイズム」ナリ此教ニ依レバ動物界ハ神ノ生命ノ藉形或ハ模型ニシテ動物ハタゞ其ノ神ノ生命ノ機關タリ又保有者タリ、「ゾラテイズム」ノ本源ニハ神体ニ關スル凡神主義ノ思想ノ伏スルアリ。動物ヲ神トスルノ原因ハ如何ナルカ。一般ノ原因及ヒ地方的原因。〔四〕凡物教ナリ。『フェテシーズム』ト云フ語ハ博言學上如何ナル旨趣ナルカ此語ハ最初ポルトガルノ語ニ使用シ其後之ヲ學問上ノ名稱ニ導キ入レタリ「デーフロックス」。凡物教ハ宗教ノ一種ノ模型ナルヤ否ノ疑問ノ決定。凡物教ノ起原。凡物教ノ起原ヲ説明セントスル理論ノ分析(スウリツ)及ヒ其他。聖書ニ於テ總テ異教ノ種々ナル模型ノ起原ノ説明特ニ凡物教ノ起原ノ説明。凡物教ヲ宗教ノ首初原本ノ模型トスル意見ノ立タザル。マクスミルレル氏ノ説及ヒ此問題ニ關スル氏ノ討究ノ結果。

前段ノ終結

三百九十一至
三百九十五

後段

宗教ノ本原ノ眞理

宗教ノ眞理ノ證詰ノ旨趣

三百九十六至
四百二十一

宗教ノ眞理ノ學理上ノ證詰ヲ立テ得ベキト其適當ナルト其有益ナルトニ對スル首ナル駁撃(カントヤコーヒシレイルマヘル神秘學者、實驗哲學者及ヒ其他)此駁撃ノ爲メノ原由及ヒ此駁撃ハ其根源タル神ノ事ト其證詰ノ事ニ於ル理解ノ不正ナルニヨリ立タザル。宗教ノ眞理ヲ建ツルニ適用スル學理上ノ證詰ノ重キニ對スル正シキ意見ハ左ノ如シ數理上ノ證詰、顯示法、繙譯法及ヒ歸納法ノ證詰ノ區別及ヒ此等ノ證詰ハ宗教ノ眞理ニ適用スルヲ得可キ。

神ノ存在ノ眞理ノ證詰ノ彙類法

四百廿一至
四百廿四

神ノ存在ノ證詰ハ若干ノ模型ニ分ツ可キカ。此疑問ノ斷定。此疑問ニ關スルレイブニツノ意見及ヒ此證詰ヲ分ツニ於テ證詰ノ弱キト不充分トノ徵候ヲ察見セントスル反對主義ノ立タザル。吾人一己ノ天性ト外界ノ万有トヲ觀察スルニ基ツク

神ノ存在ノ世界形質論ノ證詰

四百廿四至
四百四十三

所ノ神ノ存在ノ證詰ヲ分割スル古來ノ式法。此等ノ證詰ヲ顯ハスニ方テ神學汎論ノ問題。此等ノ證詰ハ外形上ヨリモ實在ノ旨趣ヲ顯ハスノ緊要ナル。此等ノ證詰ヲ外部(世界形質論及ヒ結局學ノ證詰)ト内部(實體論及道德上ノ證詰)トニ小分スル。此等ノ證詰ノ區別及ヒ此等ノ證詰ハ其ノ由テ起ル所ノ點ト其本來ノ觀念トニ依ルニ同時ニ起ルニアラザル。

證詰ノ神髓。聖書ト教會諸父及哲學者(アリストーテリレイブニツワリフ)ニ於テ此證詰ヲ顯ハスノ方法。經驗ノ事實ヨリシテ世界ヨリ上ナル原因ヲ歸結スルノ此證詰ヲ妄リニ不法ト爲シテ世界ノ自有ノ事ニ於ル反對ノ教ヲ妄リニ主張スルカントノ駁證ノ分析。此證詰ハ第一ノ原因ニ於ルノ理解ヲ個位的ノ神ニ於ルノ理解ト恣ニ混淆スト云フストラウスノ非難ノ立タザル。原因ヲ効用ヨリ分チ世界ノ第一ノ原因ヲ世界ヨリ分ツハ論理上合法ナル。及其緊要、ストラウスガ世界ノ存

在ヨリ全宇宙ヲ推論スルハ論法ニ合ハザルヲ、自己ニ根據スル永遠ノ宇宙ニ於ル見解ノ内部ノ撞着。此證詰ヲ以テ此問題ニ適用スル原因ノ法ニ關スルミルノ説ノ分析。凡ソ反對的批評ノ駁撃ニ對シテ世界形質論ノ證詰ノ神髓ノ破ル可ラザル價値ノ總論

神ノ存在ノ結局學ノ證詰

四百四十三至四百六十八

結局學ノ證詰ノ神髓及ヒ此證詰ハ世界形質論ノ證詰ト異ナルヲ。世界形質論ノ證詰ニ比シテ結局學ノ證詰ノ價値。神ノ存在ノ真理ヲ建ツルニ於テ二ツノ證詰ノ互ニ欠ク可ラザルヲ。結局學ノ證詰ノ古キヲ及其分割〔物性的結局學及ヒ歴史的結局學ノ證詰〕。此證詰ニ對スル^{オモ}首ナル駁證ヲ小分スレバ左ノ如シ(イ)世界ノ構造ニ於テ目的應合ノ事實ヲ否定ス〔唯物論者〕(ロ)目的應合ノ成果ヲ達スルガ爲メニ預匠的ヲ働ノ無ル可ラザルヲ否定ス〔ダルウインノ徒〕(ハ)世界ノ目的應合ノ構造ノ認覺的原因者ヲ否定ス〔ハルトマン〕。此等ノ駁證ノ分析及辨破。

神ノ存在ノ實體學上及ヒ道德上ノ證詰

四百六十八至四百七十九

二ツノ證詰ノ價値。實體學ノ證詰ヲ立テタルハケンテルベリイノアンセルム及ビデカルトナルヲ。此證詰ニ於テ思想ニヨリ實體ノ存在ヲ歸決スルノ正シキヲト此證詰ニ於テ至全ナル且至實ナル者ノ觀念ガ合一セラル、内部必至ノ結合ニ對スル駁證〔カント〕ノ分析。

神ノ存在ノ道德上ノ證詰ノ哲學的式法

四百七十九至五百十二

道德上ノ證詰ハ二種ニ分ル即チ實際的ト理論若クハ哲學的ナリ。道德上ノ證詰ノ神髓及カント以前ニ於テ此證詰ヲ定メ且顯ハシタル^{オモ}首ナル方法。(イ)カント以前ニ於テハ吾人ニ固有スル道德ノ法ニヨリ最上ノ立法者ノ存在ヲ歸決ス(ロ)カントノ式法ハ道德世界ノ秩序ノ觀念ニ據リ又德行ト幸福ノ間ノ和合ヲ立ツルガ爲メニ無上ナル世界ノ統治者ヲ實際上ノ道理ヨリ要求スルノ觀念ニ據ル。彼此ノ式法ノ旨趣及其比較上ノ價値。之ニ對スルノ駁論及此駁論ノ批判〔意旨ノ自主權及道德法

ノ起原」。ストラウス、フテセル、リングヘーゲリ、ガカントノ證話ニ對スルノ駁論及其駁論ノ立タザルヲ。樂天教ト厭世教ノ論争及ヒ此論争ハタゞ世界ノ最上ナル宰治者ト道德上報酬者ノ存在ヲ認承スル教ノ主眼ニヨリテ決シ得ベキヲ

個位ノ神ノ教理——信神教及其原理

五百十二至五百四十六

神体ニ關スルノ見解ニ於テ哲學上ノ理論ノ異同ガ由テ生ズル所ノ起點タル神ノ性質ノコト世界ノ起原ノコトニ於ル問題ノ旨趣。神体ニ關スル想念ノ首ナル模型「信神教、自然神教、凡神教及皆宇宙論」此等ノ諸教ハ皆一様ノ價值旨趣ヲ有スト云フ
實驗理學ノ論ノ不正ナルヲ。信神教ノ事及ヒ信神教ハ凡ソ神体ニ關スル他ノ哲學上ノ理論ニ秀出スルヲ。個位ノ本來ノ徵候タル自覺ノ事、個位ト獨一^{インツァイデム}トノ相異。自覺ハ存在ノ最高上ナル部分ナリ。人ノ心靈上ノ生活即チ智識上ト道德上ノ生活ニ於ル自覺ノ價值。神ノ個位ニ於テ自覺ノ必有ナルヲ及ヒ絶對ナル實體ニ於テ自覺ノ無キ能ハザルヲ。個位ノ神ノ教義ニ對スル駁論ノ斷定。此等ノ駁論ノ凡神主

義ノ本基(個位ナルヲト無限ナルヲニ於ル先入主タルノ見解)。左ノ諸說ヲ辨駁ス
(イ)絶對ナル實體ノ個位的ノ存在ハ其實體ノ包括セザル所無キ無限ナルヲ奪フ
トノ說(ロ)凡ソ定ムルヲハ神ノ實體ノ疆域若クハ界限ヲ設クルトノ說(ハ)絶對ノ實體ニ於テ己ヲ非己ヨリ「我」ヲ「非我」ヨリ又ハ主觀ヲ客觀ヨリ分ツヲ無キ時ニ於テ個位的存在ハ發達ノ法ニ必ズ從屬スル所ノ本能タル自覺ノ性質ト兩立スル能ハズトノ說

自然神教

五百四十六至五百六十二

自然神教ト無神論、凡神教及ヒ信神教トノ區別。自然神教ト信神教ノ特質ノ比較的簡短ナル分析。神ノ事ト神ガ世界ニ關係スルノ事ニ於ル信神教ト自然神教ノ教理。信神教ト比シテ自然神教ノ形而上的理論的及ヒ特ニ宗教的道德ノ關係ニ於テノ缺點。自然神教ノ宇宙主義ハ缺點アルニ拘ハラズ信神教ヨリモ許多ノ人ニ尙ハル、ハ何故ナルカトノ疑問ノ斷定。

凡神教

五百六十二至
五百八十二

凡神教ノ神髓即チ神体ヲ世界ヨリ分タザルコト神体ノ無心意ナルコト。凡神教ガ世界ニ對スルノ意見ニ於テ二ノ極端論〔皆宇宙論及ヒ無宇宙論〕及ヒ此極端論ハ昔時ニ於テモ今日ニ於テモ開ケシコト。凡神教ノ門派ニ於テ神ガ世界ニ關係スルノ事〔神ハ世界ノ原因ナリ然レモ世界ヨリ先キニ存在セズ〕ト世界ノ起原ノ事ニ關スル問題ニツキ論理上ノ撞着。世界自造ノ事〔觀念或ハ將成力ノ保有者ナクシテ將成の世界ガ實在の世界ニ移リ觀念ガ實際ニ移ルコト〕ノ假定ノ立タザルコト、絶對ナル本質ニ對スル凡神教ノ主眼ヨリハ種々多様ナル現象ノ生セシ所以ヲ説明スル能ハザルコト。人性論ノ意見。凡神教ハ自覺アル實體ガ生出セシコトノ問題ヲ釋ク能ハズ因リテ人ノ自由ノ意旨ト個位的ノ不死ヲ否定シ并セテ眞實ノ宗教ト道德ヲモ擯棄スルコト。凡神教ニ對シテ信神教ノ比類無ク秀出スルコトノ歸結

唯物論

五百八十二至
六百

唯物論ノ二様ノ式法即チ(一)一切万有ヲ以テ物体的トスルノ主義ヲ弘布スル極端論(二)物質ヲ以テタゞ凡ノ現象ノ原因ト認ムルノ制限論。彼此ノ派ノ領袖者。二派ニ通有ノ點ハ物質ヲ以テ絶對ノ元始ト爲シ一切ノ始源トスルコト是ナリ。哲學的ノ唯物論ノ神髓ヲ説明シ且之ヲ左ノ二者ヨリ區別ス(一)唯其ノ經驗ヨリ上ナル者ヲ知ル知識ノ能ク可キコト經驗ヨリ上ナル者ニ關スル凡ノ討究ノ利益トヲ否定スルノ實驗理學ヨリ區別シ(二)無限ニ無主義ナル且消極的ナル意見即チ虛無論及ヒ無神論ヨリ區別ス。彼等ハ智慧ノ高上ナル問題ニ對シ全ク答辨無クシテ卑近ナル實際的要素ガ哲學ノ上ニ權ヲ握ルコト。唯物論ノ根本ノ主義ノ分析即チ(一)世界ハ永遠ヨリ自存ストノ主義(二)世界ハ永遠ノ物質ヨリ開發セリトノ主義ノ分析

靈魂ノ不死ヲ信ズルノ緣由

六百五
六百二十

靈魂ノ不死ヲ信ズルコトガ人間ニ起リシ所以ノ問題ニ關スル第一ノ觀察。靈魂論ノ保護者ガ此問題ニ對スルノ意見及ヒ其意見ノ立タザルコト。不死ヲ信ズルノ首先ノ本

基タル自覺ト宗教的感情ノ暗示ノ事實。靈魂不死ノ學問上ノ證詰ノ種々ナル種類
〔神學、哲學及道德上ノ證詰〕及ヒ其種類ノ比較的價値。靈魂ノ本質メノメタンチヤタルトト神靈
ナルトトハ靈魂ノ首ナル性質ニシテ靈魂不死ノ哲學上ノ證詰ハ之ニ基據ス。唯物
論ニ對シ靈魂ノ此性質ノ實在ナルトヲ論ス

靈魂ノ破ル可ラザルト及靈魂ノ個位的不死ノ能フ可キト

六百二十至
六百五十二

靈魂ノ破ル可ラザルトト消滅ス可ラザルトトヲ靈魂ノ神靈ナルトト本質タルトヨ
リ引出タスノ歸結〔凡ソ實在ナル本質ノ消滅ス可ラザルトト比考〕。靈魂ノ見ル可
ラザルトト非物質ナルトト不可觸ナルトトハ以テ靈魂ノ實在ナルトト消滅ス可ラ
ザルトトヲ否定スルノ理由トナル可ラズ。靈魂ノ單一ナル存在ヲ永遠ニ守ルヲ得
可キトヲ信セザルガ爲メニ積極ノ理由ノ絶テ無キト。死者ノ靈魂ガ身体ト結合ノ
外ニ在テ存在ノ能フ可キトニ反對ノ引用スル證詰ソ消極的ノ性質〔ストヲウス及

ヒ其他ノ證詰〕。單一ナル不死ト個位的不死ノ異ナルト及ヒ個位的不死ノ能フ可キ
ト。身体ノ死後靈魂ノ有様ニツキ哲學ノ主眼ヨリノ預想。人ガ實驗上ニ與ヘラレ
タル實際ノ生活ニ満足セザルトト他ノ理想上ノ生活ヲ以テ居ランヲ要求スルトト
ニ基據スル靈魂不死ノ思考

後編

天啓教論即基督教論

前段

天然教ノ批評的比較ノ大意

天然ノ宗教ヲ主義ニ依リテ分類ス

廿一至廿八

天然教ヲ附會シテ天然而上ノ原出ト爲ス。此附會ノ立タザルヲト獨リ基督教ノミハ眞ノ神タル重キヲ有スルヲ證スルガ爲メニ天然教ノ公平ナル批評比考ノ欠ク可ラザルヲ。異教、異教ハ(イ)開化的ト不開化的トニ分レ(ロ)歴史的過去ニ屬スル者(既ニ亡ビタル者)ト今ニ至ル迄存在スル者トニ分ル、今ニ至ル迄存在スル異教ノ宗派ハ神學汎論ノ目的ノ爲メニ特別ノ價值ヲ有ス。異邦ノ宇宙論ノ首要特殊ノ本源タル唯理論及ヒ拜人教。異教ノ唯理主義ノ門派即チ支那ノ宗教。此宗教ノ元始ノ表様(「モノテイズム」)ニ於ルノ假定。支那ノ教ノ一般ノ性質及ヒ傑出スル所

ノ特質(禮儀及ヒ諸靈ノ崇敬)。孔教及ヒ其創立者。孔子ノ教ニ於ル唯理論及ヒ二元論(天ト地)。人ト靈魂ノ不死ト諸靈ノ崇敬ニ對スルノ意見

印度教

廿八至五十六

印度教ノ元始唯一神主義ノ模型ニ於ルノ假定(「モノテイズム」)及ヒ其理由。婆羅門教ハ唯一神教ノ模型ノ傷ハレシ者ナルヲ及ヒ彼レガ唯理主義ノ凡神論ト支那ノ教ノ唯理論ニ異ナルノ點。「ブラマ」ガ自己ニ於ルノ「及己」ヲ定ムルニ於ルノ「三者ノ事。下等ナル神體。世界ト人ト人ノ終極ノ目的ニ於ルノ意見。婆羅門教ノ教義、「ブラマ」及ヒ「ブラマ」ヨリ下等ナル神體ニ於ルノ關係。婆羅門教ノ三者ノ教ハ基督教ノ三者ノ教ト同シト云フ說ノ立タザルヲ。神ノ化身ノ事ノ教

佛教

五十六至百十九

佛教ノ信徒ノ數。佛陀ノ生活ノ時ニ關スル歴史上ノ事實ノ存セザルヲ。佛陀ノ人物(半鬼神誌的)及ヒ其教ノ性質(神秘的無神論)。佛徒ガ佛教ノ起原ヲ附會シテ奇

蹟ト爲ス₁及ヒ其說ノ立マザル₁。佛教ノ本源「スートラ」經」。定理無キノ道德ハ元始ノ佛教ノ特殊ノ性質ナリ「佛陀ニ歸スル所ノ訓言」。佛教ト婆羅門教ノ關係。元始ノ佛教ノ無神論ヨリ多神教ガ開ケシ₁「諸ノ佛陀ヲ以テ神ト爲ス」。佛教ノ世界論ノ意見。世界ノ夥多ナル₁及ヒ其奇怪ナル存在ノ時限。人ノ起原。惡ト救贖ノ問題ニ關スル道德上ノ意見。惡ハ存在ノ免ル可ラザル附屬ニシテ惡ノ根原ト原因トハ存在ノ望ニ在ル₁。救贖ノ道ハ生活ノ望ヲ滅シ人間ノ存在ヲ絶ツニアリ。其方法ハ婚姻ノ生活ヲ拒絕シ生活ノ感覺ヲ壓潰スルニ在リ。佛教ノ制慾主義ノ種類。佛教ノ一般ノ性質ハ定靜ナリ寂滅ナリ及ヒ運命ニ全ク委スルナリ。人ノ死後ノ運命ニ於ルノ想考即チ靈魂ノ流轉及ヒ「涅槃」ニ冥没スル₁

波斯教—ゾロアストル教

百十九至
百五十二

上古ノ波斯教ト上古ノ印度教ノ似同「二者共ニ「エノライズム」ナル₁及ヒ二者ニ共通ナル神體」及ヒ遠ク開進スルニ隨ヒニ教ガ異ナルヲ爲セシ₁「波斯人ハ印度ノ

凡神主義ト反對シテ個位ノ神ノ觀念ヲ守レリ」ゾロアストル及ヒ「ゼンドーアワ」エスタ」ゾロアストルヲ以テ神ノ使者ト爲ス₁ト彼ノ母ノ預言ノ夢ト彼ノ奇蹟ニ於ル古傳ノ信ズ可ラザル₁。ゾロアストル教ノ「ワルムズト」及ヒ「アリマン」ノ事、神靈ノ事「聖經」ノ教ト異ナリ「見ユル世界ト人トヲ以テ二ツノ元始ノ産出ト爲ス₁」ノ教。世界ト人ノ終極ノ目的ニ對スル根本ノ意見、未來ノ生活ニ對スル意見、復活ノ事ト世界末後ノ運命ニ於ル後來「假借的」ノ教。惡ト戰フ₁ノ道德ノ教。救贖「其目的ハ善ト光ヲ讃揚スルニ在リ」。一般ノ意見「二元論ナリ即チ神ヲ以テ善ト光ノ自定的元始ト爲ス然レモ無限ニ自由ナルニアラズ又專ラ神靈的ナルニアラズ」

古昔埃及人ノ宗教

百五十二至
百七十二

ゾロアストルノ教ニ比シテ埃及人ノ教ノ特質「神體ニ關スル想念ニ於テゾロアストルノ教ヨリハ嚴ナラザル二元論」。惡ノ元素タル「テイファタン」ノ勝者「ヲヨリス」

ノ事。不死ノ事及ヒ死後ノ運命ニ於ルノ思考、動物教。奧秘及ヒ表號。活潑靈動ナル神ニ於ル想念ノ闕乏スルヲ

「シミト」人即チワビロン人ヒニキヤ人及ヒアッシリヤ人ノ宗教

百七十二至
百八十三

「シミチック」民族ニ主タルノ教法ナル拜星教サバイズムノヲ、及ヒ他ノ異邦民ノ教法ヨリ借リ來レル元素ノ之ニ混淆セシヲ。純粹ナル唯一神主義ノ闕乏スルヲ。「シミチック」人種ノ宗教ノ價值「彼等ノ古傳ニハ希伯來人ノ教ト同一ナル者多シ然レハ傷ハレタル者モ少ナシトセズ」。其著顯ナル古傳ハ人ノ起原ノ事、創世ノ時ノ事、罪ニ陥リシヲ及ヒ洪水ノ事等是ナリ

希臘羅馬ノ宗教

百八十三至
二百十三

此宗教ガ古昔異教ノ歴史ニ於ル完結ノ旨趣。(一)グレイキ人ノ宗教ハ異教ノ花トシテ現ハレツ、宗教ニ於ル高尚ナル見解ノ主眼ヨリ視レバ重大ナル缺點ヲ顯ハス。

聖書ノ「エルリニズム」ニ對スル意見。神ヲ以テ人様ノ實體トスルホメールノ思考。グレイキ人ノ宗教ノ意識ノ漸々ノ發達ヲ象ルゲヨアドノ神統紀。「アントロポテイイズム」〔拜人ノ教〕ハグレイキノ宗教ノ固有ノ理線ナリ彼レノ異成ノ缺點〔諸神ヲ限ルヲ、諸神ノ夥多ナルヲ、運命ニ依頼スルヲノ類〕。グレイキノ教法、秘密祭。(二)羅馬ノ宗教ノ本來ノ特質〔分殊ヲ合一ニ歸セシムルヲ、「ユビテル」即全世界ノ主轄ノ代表者〕羅馬ノ世界ハ異教ノ民ガハリストス教ニ移ルノ階段ナルヲ。

前段ノ終結

二百十三至
二百廿一

(一)異邦ノ教法中一トシテ天然教ノ範圍ヲ出ツルモノアル無シ(二)彼等ハ眞理ヲ尋ヌルニ前進ス然レモ天然而上ノ啓示ノ助無クシテ其意ヲ遂ゲ得ズ(三)天然ノ啓示ハ異教世界ヲ天然而上ナル高尚ノ啓示ヲ受ルニ預備スルノ方法ナルヲ。異教世界ハ天然ノ啓示ノ方法ヲ益用スルノ缺乏不十分ナルニヨリ審判ニ對シテ答責スベキヲ。(四)異教世界ニ於テモ最善キ人々ハ宗教ノ事ニ於テ天然而上ノ啓示ノ必須

ナルヲ認識ス。プラトン及ヒソクラトノ説。

後段

ハリストス教ノ啓示論

啓示ノ見解及ヒ其見解ノ首ナル種類

二百廿二至
二百四十七

啓示ノ定義。啓示ハ天然而上ト天然ト直接ト間接ト外部ト内部トニ分ル。啓示ノ誤謬ナル見解ハ(一)正理論ノ見解ナリ其多種多様ナル理論ハ左ノ諸點ニ歸着ス(イ)啓示ノ殿ニ天然而上ナル性質ヲ否定スルナリ(ロ)内部ト外部ト啓示ヲ恣ニ解釋スルナリ(ハ)天然而上ノ感通ヲ否定スルナリ(ニ)啓示ノ教ノ無限ニ謬リ無キヲ否定スルナリ(カ)カントフイフテノ派ノ正理論ニ於テハ神ノ啓示ノ觀念ヲ傷ヒ啓示ノ重キヲ恣ニ制限ス。(二)神ガ自己ニ自啓スルコトニ於ル凡神教ノ見解及ヒ其内部ノ撞着(三)獨リ内部ノ啓示ノミヲ許認スル偽神秘學ノ見解及ヒ(四)人ガ啓示ヲ受ルニ認識的活動ノ關係ヲ有スルヲ否定スル偏頗ナル超理論ノ見解。

啓示ニ於ル和解的ノ理論

二百四十七至
二百八十二

此理論ノ一般ノ特質及ヒ此理論ノ最著ナル代表者即チシレイルマヘルトリチャルドロテノ「及ヒ」彼等ガ啓示ト總テ天然而上ナル者ニ於ルノ見解。シレイルマヘルガ凡ソ新ナル者ト特ニ新奇ノ思想ヲ以テ啓示ト爲シ又啓示ヲ以テ凡ソ之ニ先タツノ境遇ヨリ必至ノ成果トシテ流レ出ルニアラザル者(縦ヒ其境遇一於テ預備ヲ爲ストハ雖)トスルノ意見、天然而上ナル者ハシレイルマヘルノ理論ニ於テ終ニ天然ナル者トシテ現ハル、「リ」チャルドロテハ神ノ眞理ヲ傳フル「manifestatio」ノ事タル外部ノ啓示ヲ以テ神通「inspiratio」タル内部ノ啓示ヨリ區別シ、啓示ヲ以テ天性自然ノ開發ニ關ス、故ニ神ニ感ゼラル、「ハ」ロテニ於テハ殿ニ云ヘハ天然而上ナルモノニアラズ、「ロ」テガ人間ノ天然ノ知識ノ機關ガ罪ノ爲メニ本來傷ハレタルニ對スルノ意見ト天然而上ノ感通ガ天然的心理ノ開發ノ法ニ係属スルニ於ケル意見トノ間ノ撞着。

天然而上ノ啓示ノ能フ可キ

二百八十二至
三百一

天然而上ナル者ハ感覺而上ナル者非常ナル者及ヒ天然反對ナル者等ニ迥異スル
 「例ヲ取テ説明ス」天然而上ナル者ハ万有ノ法ノ斷滅「ユムシレイルマヘル」若クハ
 其一時ノ停止及ビ恢復「スホラスティカ」ト必ズ關係ヲ有セズ、天然而上ナル者
 ヲ以テ必ズ預想セラル、ハタゞ其万有ノ天然ノカト法トニ超越スルコトナリ。天然
 而上ナル者ハ廣キ意味ニテ云ヘバ恩寵ノ國ナリ而シテ狹ク云ヘバ天然ノカノ外ニ原
 因ヲ有スルノ現象ナリ「奇蹟」宗教的の道德ノ目的ハ天然而上ナル者ノ眞成ノ徵候ナ
 リ。天然而上ナル啓示ノ能フ可キハ總テ天然而上ナル者ノ能フ可キ時ト形而上
 的「論理上思考シ得ベキ」物理的「万有ノ法ニ反對セザル」物動論的「神ノ全能
 ノ力」及ヒ道德上「天然而上ノ啓示ヲ認識ヲ以テ自由ニ受クベキ人ノ才能」ニ於テ
 其能ハザルコトヲ斷定スルガ爲メニ理由ノ存セザル時ニ在リ

天然而上ノ啓示ノ徵候

三百一至
三百廿一

此徵候ノ解。此徵候ハ内部ト外部ト消極ト積極ト天然ト天然而上トニ分ル。此等
 ノ徵候ガ一部ニ於テモ全部ニ於テモ眞實ノ啓示ヲ假偽ノ者ヨリ分ツノ事ニ於ルノ
 價值

啓示ノ天然而上ノ徵候タル奇蹟

三百廿一至
三百四十四

奇蹟ノ解、聖書ニ於テ奇蹟ノ種々ナル名稱及ヒ其名稱ヨリ流ル、奇蹟ニ對スルノ
 三主眼即チ實體學ト心理學ト結局學ノ主眼。眞實ノ啓示ノ天然而上ノ徵候タル奇
 蹟ノ特有ノ性質「天然ノカト法」上ニ超然タル最明白ナル驚ク可キ卓越、天然ノ力
 ト法ノ助ヲ以テ再造スル能ハザルコト、神ニ應ズル高上ナル宗教的の道德ノ目的。眞
 實ノ奇蹟ヲ假偽ノ奇蹟又ハ異術ヨリ分ツ特殊ノ徵候。奇蹟ノ證話ノ確信スベキ
 ノ問題ニ對スルユムノ意見ノ批評的分析。ユムノ不理ナル斷定ハ左ノ如シ「(一)實
 驗ハ奇蹟ノ證話ノ確信スベキ」ノ獨一ニシテ全ク有望ナル標準ナリト云フ「(二)
 一般人類ノ一致合同ノ實驗ハ奇蹟ノ實在ナルコトニ反對シテ證ヲ爲スト云フ」是ナ

リ、第一ノ断定ト反スルハ其先タツ所ノ世々ノ實驗ニ於テ未タ知ラレザリシ者ノ新發見ナリ然シテ第二ト反スルハ無數ノ人間ガ奇蹟ノ能フ可キト事實ナルトトヲ信ズル是ナリ。正理論者〔パウリユス及ヒ其他〕ガ奇蹟ヲ説明スルノ經驗、彼等ノ牽強附會及ヒ彼等ノ説ハ批評的判定ニ對シテ明ニ立タザルヲ

預言

三百四十四至
三百六十五

預言ノ定義。異教猶太教及ハリストス教ノ世界ヨリ預言ノ證詰上ノ重キニ對スルノ主眼。此問題ニツキ「ストイク」派ノ説。聖經ノ意見。イイススハリストスノ預言者ノ勤メ。眞實ノ預言ト虚妄ノ預言ノ異ナル特殊ノ徵候ハ左ノ如シ(イ)眞實ノ預言ハ神託者ノ預報ト異ナリ(ロ)萬有ノカト法ヲ學ブニ基ツク所ノ預言ト異ナリ(ハ)人間ノ靈魂ノ天然ノ特質タル預感又ハ預知ト異ナルナリ。眞實ノ預言ヲ虚妄ノ者ヨリ分ツヲ得ルハ(一)預言ノ應驗スル有様ニ依ル〔全部ニ於テモ一部ニ於テモ預言ト應驗トノ間ノ十分ノ符合〕(二)預言スル所ノ事項ニ依ル〔預言ガ現時ニ於

テ已ニ何等ノ表兆モアラザル偶然ナル未來ニ關シ特ニ未來ニ於ル或ル天然而上ノ現象ニ關スルニ依ル〕(三)預言スル所ノ目的ニ依ル〔神ノ榮ノ爲メト人ノ宗教的道德ノ益進ニ關スルニ依ル〕(四)預言ヲ宣示スルノ方法ニ依ル〔巧ニ人ヲ感發セシメ又ハ一事兩意ノ在ラザル〕(五)預言者ノ道德上ノ資格ニ依ル。ルソーハ預言ノ確信ス可キトノ事實ヲ認ムルガ爲メニ三ノ要契ヲ示スト左ノ如シ(一)若シ吾人ハ預言ヲ宣示シタルノ親證者タラバ(二)預言ガ應驗シタルノ親見者タラバ(三)モシ預言セシ所ノ者ハ其先タツ所ノ出來事ノ行道ニ依リ預見スル能ハズシテ其應ゼシハ偶然ナルコトノ全ク望ミ有ル保證ヲ有スルナラバト。三者ノ中後ノ要求ノ合法ニシテ前ノ二者ノ非理ナルヲ。

神啓ノ教ハ舊約ト新約トニ分ル

三百六十五至
三百六十八

第一章

舊約ノ教

神ノ事ニ關スル舊約ノ教理

三百六十九至
三百八十五

舊約ノ神ノ事ノ教理ガ異邦ノ神体ニ關スル教義ニ對シテ首要ナル差異及ヒ其秀出。舊約ノ唯一神教ノ特性及ヒ其道德上ノ性質、神ノ聖ナル事ノ教。神ノ事ニ關スル舊約ノ教ノ純全ナルト高尚ナルトハ舊約ノ教ノ神啓的ノ價值ノ徵候ナリ。舊約ノ唯一神教ノ起原ヲ天然ノ方法ヲ以テ説明スルノ假定ハ左ノ如シ(一)「シミチツク」八種ノ特性ヲ以テシ「レナン」(二)希伯來民ノ元始遊牧的ノ生活ノ情狀ヲ以テシ「ストラウス」(三)希伯來民ノ曠野四十年ノ旅行ヲ以テシ(四)希伯來民ノ漸々知識上ノ發達ヲ以テシ(五)唯一神教ヲ他ノ宗教ヨリ借り特ニ埃及人ノ宗教ヨリ借ルヲ以テス。此等ノ假定ノ立タザルヲ。

創造ノ教

三百八十五至
四百十七

此教ガ異邦ノ世界開闢論ニ秀出スルヲ及ヒ其秀出ノ首ナル要點。舊約ノ教ニ於テ創造ノ事ノ教理ヲ顯彰スルハ神ノ事ノ教理ニ比スレバ充分ナルヲ。其理由。創造ノ

事ニ關スル舊約ノ教ハ事實上ト定理上ノ二部ニ分ル及ヒ彼此ノ教ノ價值。此教ノ源本タル觀念ハ第一世界ヲ無ヨリ造ルヲ第二世界ヲ適時ニ造ルヲ。第一ノ觀念ノ旨趣及ヒ之ニ對スルニ無ヨリ何物モ生ゼズノ格言ヲ以テスルノ錯置。世界ハ適時ニ造ラレ永遠ヨリアリシニ非ズトノ觀念ノ精神。實在ノ世界ト理想的ノ世界ノ有様ノ區別。理想的ノ世界ハ神ノ智識ノ永遠ノ冥觀ノ標的タリ。適時創造ノ觀念ハ神ノ不易ナル事ノ教ト両立協合スルヲ及ヒ神ノ本性ニ關スル純然タル教ノ爲メニ此觀念ノ重キヲ。カント及ヒ輓近ノ唯物論者ヨリ此觀念ニ對スル駁證ノ分析。物質ノ消滅ス可カラザルヨリシテ其永遠ナルヲ歸決スルノ非理ナルヲ。世界ハ永遠ノ物質ヨリ自成ストノ教ノ論法ニ合ハザルヲ。此ノ如キ自成ノ理ノ無キヲ

舊約ニ依ルニ世界造成ノ秩序

四百十七至
四百四十四

此秩序ハ博物學ノ大ニ信ズベキ歸結ト符合ス、舊約ノ傳ニハ學者ノ知欲ノ範圍ニ屬シ天文學又ハ地質學ノ專門ノ論說ニ入ル可キ所ノ細目曲折アル無シ、故ニ博物

學ト聖書ノ撞着ヲ歸結スルノ理由無キヲ。創造ノ諸日ニ關スルノ教義。西ノ神學者ガ創造ノ諸日ニ對スルノ意見及ヒ此意見ヲ利スルガ爲メニ彼等ガ引用スル所ノ證詰、此等ノ證詰ノ分析及ヒ西ノ神學者等ノ意見ノ立タザルトト創造ニ於ル聖經ノ意見ノ精神ト全ク反對スルヲ決定。總体ノ歸結。

人ト人ノ起原ニ於ル舊約ノ教

四百四十四至
四百七十二

本源ノ真理ハ左ノ如シ(一)人ハ神ノ造ル所ナリ(二)人ハ他ノ地上ノ萬物ニ異ニ迥異シ且高上ナルヲ(三)身体ノ性ニ依ルモ心靈ノ性ニ依ルモ神ノ像ニ依リ完全ヲ以テ造ラレシヲ(四)不死ニ預定セラレシヲ(五)自己ノ自由ノ意旨ニ依リ罪ニ陥リシヲ(六)神ノ無限ノ仁慈ニ依リ救贖ヲ賜ハリシヲ。人ノ創造ニ關スル舊約ノ教ハ人ノ起原ニ關スル唯理論ノ假定ニ秀出スルヲ。唯理論ノ假定ノ要略。タルウインノ假定ノ首ナル主義ノ分析。此假定ヲ固ムルガ爲メニ實驗ノ事實ノ在ル無キヲ、此假定ハ人ノ猿ヨリ迥異スル真成本源タル心靈上ノ區別ト或ル最重要ナル生理上ノ

區別ヲ拒絕スルヲ、猿ヨリ人ニ移ル變成的模型ノ存スルヲ設想スル立論ノ無替ナルヲ(キアンデルタリ及ヒベリギイノ頭売ト此頭売ニ關スル大ニ公平ナル學者ノ意見、小頭ノ人類ニ徵スル證詰ノ立タザルヲ)。人ノ起原ニ關スルタルウインノ假定ハ種類ノ變生ノ假定ト關係連合スルヲ。此假定ノ神髓及ヒ創造ニ於ル有智ナル意匠ヲ想定スルノ緊要ナルヲ。有機物体ガ自生スルヲノ假定ハ學理上立タザルヲ。人ハ動物ニ迥異スルヲ

世界ト人ハ幾許古キカ

四百七十二至
五百三十

(一)世界ノ古キコノ問題ハ宗教上ノ性質ナルヨリモ却テ學問上ノ性質ナルヲ。聖書ニハ世界ノ創造ノ事ニ關シテ精密ノ義ヲ闕ク因リテ世界ノ古キトニ關シ注釋的ノ意見ノ放肆ヲ生ズルヲ。創造ノ事ニ關スル舊約ノ傳ハ『コスモゴニヤ』『世界開闢論』ナルカ或ハ唯『ゲヲゴニヤ』『地球創造說』ナルカトノ問題ヲ決スルノ緊要。核復的ノ假定ノ説明及ヒ分析。地質學ノ事實ニ關スル總体ノ歸結及ヒ考說。世界ノ

古キヲニ關シ天文學ノ計算ニ於ルノ意見。(二)人間ノ小説的古キヲ假定スル唯物論ノ説(リヤエリ)及ヒ此假定ガ總テ人ノ事ニ關シ特ニ人ノ起原ノ事ニ關スル唯物論ノ教ニ於ルノ價值。此假定ノ主眼ヨリ人ノ事ニ關スル舊約ノ教ノ本源ノ眞理ヲ否定スルヲ。此假定ノ立タザルヲハ左ノ如シ(一)唯物論者ガ人間ノ永遠ノ存在ヲ認ムルノ意見ハ世界ノ漸々開成セシノ理論ト撞着ス(二)人ノ存在ノ小説的古キヲノ假定ノ基址トナルベキ所ノ歴史ノ事實ノ存セザルヲ及ビ(三)此假定ガ聊賴スル所ノ地質學及ヒ古物學ノ性質ノ事實ノ不定ナルヲ

人間ノ一ナルヲ及ヒ人ノ元始ノ景狀

五百三十一
五百五十二

定理上及ヒ道德上ニ於テ人間ノ一ナルヲノ眞理ノ重要。此眞理ニ由テ生ズル天啓ノ教ノ人ニ對スル意見ハ異邦ノ信教ニ對シテ眞ニ秀出スルヲ、狹隘ナル國情主義ト人種的離隔主義。「ポリゲニスト」「人類多族論者」ノ理論及ヒ有名ナル博物學者キニツイエフンボリドトカトルフ、マ等ノ承認ニ依ルニ此理論ノ立タザルヲ。物

体上及ヒ道德心靈上ノ一ナルヲ。人間ノ一ナルヲヲ證スル學理上ノ證詰ハ左ノ如シ(イ)殊異ノ人種ニ屬スル人類ヨリ生シ來リシ孫裔ガ繁殖ニ堪フルヲ(ロ)生理的及ヒ心理的ノ事證(ハ)比較言語學ノ事證及ヒ(ニ)種々ノ民族ノ宗教上ノ信仰ト古傳トノ比較攻究ノ事證。人間ガ一對ヨリ生シテ全地球ニ蔓延スルヲノ能フベキヲ。此問題ニ關スル比較統計學ノ預想的事證

罪ニ陷ル以前ト罪ニ陷ル以後洪水ニ至ル迄ノ人間ノ有様

五百五十二至
五百八十七

此教ノ重要、民族ノ合同一致ノ古傳ヲ以テ此教ヲ固ク證スルヲ。原人ノ野蠻ナルヲノ唯物論者ノ説。罪ニ陷リシ以後人ノ創世ノ生活ノ性質。創世ノ人類ハ開化ナリシヤ將タ否ルカ。野蠻ト開化ノ義ノ説明及ヒ之ヲ創世時代ニ適用スルヲ
惡ノ起原

五百八十七至
六百二十九

舊約ノ主眼ヨリ觀察スル惡ノ起原。惡ノ本質ノ不信ナル了會ニ縁リ及ヒ人ニ於テ意

官ノ自由ヲ否定スルニ縁リテ現ハル、此問題ニ對スルノ不正ナル意見。罪ノ事ニ關スル舊約ノ教ニ依レバ世界ニ於テ道德上及ヒ物体上ノ惡ノ首先本來ノ原因トシテ現ハル、モノハ罪ナリ。罪ノ避ク可ラザル同道者タル苦ト死トノ事。意旨ノ自由ナルコノ教ニ反對スル^{デアルミニスト}定道論者ノ難駁及ヒ自覺ノ證詰ニ據テ之ヲ辨破スルコト即チ選擇決定ノ自由ト吾人ノ想念ノ行道ヲ管理スルノ自由ト吾人ノ行爲ノ自由ニ於ル自覺ノ證詰。自由ノ證詰タル後悔ノ事實。道德上ノ統計ノ事實ニ據リテ構造セ^ル意旨ノ不自由ナルコノ歸結ハ學理ニ合ハザルコト。惡ヲ以テ天然ノ現象トスル厭世教ト樂天教ノ意見。惡ヲ以テ天然ノ現象ノ意味ニ説明スルニ對スル道德上ノ意識ノ反駁

人間ノ贖罪

六百廿九至六百四十七

贖罪ノ永遠ノ旨趣、贖罪ノ眞理ノ第一ノ觀念及ヒ此觀念ノ全世界的ナルコト、此觀念ハ凡ソ宗教上ノ禮儀ノ中心ノ點即チ獻祭ニ於テ顯ハレタリ獻祭ハ人ガ神ノ前ニ有

罪ナルコトノ認識ト復和ノ要求ノ表現ナルコト。人間ノ獻祭ノ特殊ナル旨趣。贖罪ノ事ニ於テ無罪ノ獻祭ノ緊要ナルヲ認ムル異教世界ノ朦朧タル認識。異邦ノ鬼神誌ト詩ト哲學ニ於テ贖罪ノ觀念ノ表現。異邦ト舊約トニ論ナク贖罪ヲ待望セシメノ鬼神誌ノ旨趣ニ於ルヤウル派ノ意見及ヒ此意見ノ立タザルコト。舊約ニ於テ贖罪ノ觀念ノ表ハレタル特殊ナル理線。舊約ノ「メツシヤ」ニ關スル預言及ヒ此預言ハ異邦世界ノ朦朧タル待望ト迥異スルコト。贖罪ノ觀念ノ由來ニ於ル唯物論派ノ意見及ヒ此意見ノ立タザルコト。贖罪ノ旨趣ト神髓トニ對スル樂天教ト厭世教ノ意見ノ極端〔人ノ自贖ト神ノ自贖〕。贖罪ノ觀念ニ關スル社會論

全世界ノ洪水

六百四十七至六百八十二

舊約ニ著ハス洪水ノ有様、洪水ニ關スル舊約ノ記傳ノ懷疑的批評ハリストス教ノ眞理ノ範圍ニ於テ洪水ノ問題ノ重要ナル旨趣。人類學及ヒ地質學上ノ洪水。舊約ヲ博物學ト一致セシムルコトノ實驗。氷原ノ時期。懷疑的批評ノ部分的駁證

言語ノ分裂及種族ノ離散

六百八十二至七百十

古ノ歴史ヲ區別表類スル民族及ヒ人種ノ離異ノ始メ。舊約ノ記傳及ヒ學問上ノ事實ヲ以テ此記傳ヲ證定スルヲ。殊異ナル言語ノ生ゼシ由來。舊約ノ『言語ノ混淆』ノ事ヲ如何ニ了會ス可キカ。一種特別ナル宗教上ノ目的ノ爲メニ希伯來民ヲ選ビシ

舊約ノ教ノ道德上ノ意見及ヒ奉神ノ禮儀并ニ其來生ニ對スルノ意見

七百十一至七百廿八

舊約ノ信ノ教ト道德ノ教ノ神髓ノ簡短ノ説述タル十誡ノ。舊約ノ道德ノ根本ノ主義〔神ト近者ヲ愛スルヲ〕ハ精神ニ於テハハリストス教ノ主義ト同一ナルモソノ適用ノ廣サニ於テハ異ナルヲ〔普遍的ノ義ノ闕乏〕。舊約ノ政法ノ原本タル意思及ヒ彼ノ立法ハ他ノ古昔ノ立法ニ秀出スルヲ。例法ノ首ナル理線ハ左ノ如シ〔イ〕舊約ノ人ノ神ニ對スルノ關係ヲ定ムル大本ノ立定タル神ノ前ニ虔恭ナル畏ノ感情

(ロ)此關係ノ各自ノ顯現ヲ例法ニ於テ定ムル詳細ナル立定(ハ)復和ノ獻祭。舊約ノ教ニ於テ不死ノ觀念、舊約ノ教ニ於テ此觀念ノ爲メノ定理上及道德上ノ基址。此問題ニ關スル正理派ノ意見ノ不正ナルヲ

未來ノ生命ニ關スル舊約ノ想念ヲ同ク此事ニ關スル他ノ異邦ノ教ノ想念ト比較

七百廿八至七百五十三

救贖以前人間ノ道德上一般ノ有様ト相準スル彼此ノ想念ノ悲哀ナル性質。舊約ノ人ノ死者ノ運命ニ關スル悲哀ト嘆息トヲ滅和鎮靜スルノ元素タル救贖ノ希望。死者ガ居ル所ノ處ハ「セーラル」ナリ〔地獄或ハ陰府〕舊約ニ於テ「セーラル」ヲ象ルノ有様。陰府ハ(イ)墳墓ト異ナリ(ロ)佛敎ノ涅槃ト異ナリ及ヒ(ハ)他ノ異邦ノ〔ワピロン及ヒ希臘ノ〕鬼神誌ノ地下ノ世界ト同シカラズ〔外形上或ハ同シキ點アリト雖〕。異邦ノ教ニ固有ナル多神敎ノ混淆ノ絶テ在ラザルヲ。他界ニ去リタル靈魂ノ有様。來生ノ報酬、未來ノ審判及ヒ復活ノ事

ハリストスノ教ガ舊約ノ教ニ關スル總体ノ趣意

七百五十三至七百五十七

舊約ノ啓示ノ不充分及ヒ基督教ニ於テ充分ナル啓示ノ現ハル、ニ對シテ舊約ノ啓示ノ準備的ノ旨趣。舊約ノ教ハ全人間ノ爲メニ擬定セラル、ニアラズシテ直チニ近ク猶太民ニ適用スル。舊約ノ教ノ定理上及ヒ道德上ノ教理ノ不充分及ヒ彼ハ基督教ニ由テ與ヘラル、高上ナル新啓示ヲクンバ完備セザル。舊約中「メツシヤ」ニ賴リテ新約ヲ立テラル、トヲ含有スルノ箇處

第二章

新約ノ教即基督教

章意即チ考究ノ歸旨

七百五十八至七百六十一

ハリストス教ノ神タル價值ヲ表明スルニ於テハリストス教ガ有スル證話ノ充滿及ヒ其ノ多種多様。此等ノ證話ハ總テ(イ)外部ト(ロ)内部ニ分ル。ハリストス教ノ神出

七百六十一至七百八十三

問題ノ精神。唯理論派ガ基督教ヲ以テ古昔ノ世界(猶太及ヒ異邦ノ世界)ノ種々ナル元素ノ天然ノ產出ト爲スノ意見(パウリストラウスレナン及其他)。此意見ノ辨駁ハ(イ)基督教ノ現出ニ伴フ外部天然而上ノ事實ニ基ツキ(ロ)基督教ノ内部ノ神隨ニ基ツク即チ異教及ヒ猶太教ニ對シテ眞成無比ノ秀出ニ基ツク。「メツシヤ」ニ關スル尤顯著ナル舊約ノ預言及ヒ基督教ノ創立者ニ於テ其預言ガ應セシ。大ニ普通ニシテ且大ニ詳細ナル預言ハ(一)「メツシヤ」ガ來ルノ時ニ關係シ(二)彼ガ生ル、ノ處ニ關係シ(三)彼ノ族ニ關係ス。凡ソ此等ノ預言ハ主イエススハリストスニ於テ應セシ。ハリストスガ來ル前ニ於テ人民一般ニ世界ノ贖罪主ヲ待望セシ。總歸結。

基督教ノ創立者ノ神タル品格

七百八十三至八百四

イエススハリストスノ神人タル資格ノ固有スル所ハ左ノ如シ純全無疵及ヒ和合、凡ノ偏固ヲ免ル、ノ自由、至高ナル定實、完全ノ無限ナル充滿、一般人類のナル、

人間ノ歴史上ノ生活ニ及ホス道德上ノ感化力ノ無双ナルヲ、無比ナルヲ無罪ナル
ト。鬼神誌派ノ意見ニ對シ福音經ノイエススハリストスノ人ト爲リノ歴史上實
在ナルヲ證スルノ證詰(イ)福音記者ガイエススハリストスノ品格ヲ思出セリ
ト云ヒ(ロ)當時ノ總合ノ智慧ヲ以テ之ヲ造爲セリト云ヘル假定ノ立タザルヲ

基督教ガ世界ニ弘マリシヲ論ス

八百四至
八百十

基督教ガ弘マリシヲノ不可思議ナルハ基督教ノ神出ナルノ證詰タリ、マゴメト教
ノ弘布。

基督教ノ神髓及ヒ其原本ノ眞理

八百十至
八百八十六

問題ノ旨趣。軌近ノ正理論派ガ此問題ヲ決スルノ偏頗ナル決定ハ左ノ如シ(イ)偏
頗ナル道德的決定(カント派)及ヒ(ロ)偏頗ナル理論的決定(ヘーゲル派)。此問題
ニ對スル彼此ノ意見ノ首ナル^{カモ}缺點。フェルバフノ理論ニ於テ基督教ノ神髓ヲ偏固
ニ了會スルノ極端ナル顯現。此理論ノ分析及ヒ辯破。神タル創立者ノ性質ヲ已レニ

印スルノ宗教タル基督教ノ神髓ノ積極ノ定義。基督教ノ完全及ヒ包括セザル無キ
ト。宗教ノ眞ノ神髓ハ基督教ニ極メテ充滿シテ形居スルト。基督教ノ原本ノ眞理
ハ左ノ如シ即チ神ニ於テ位ノ三ツナルヲノ秘義ト籍身及ヒ救贖ノ奥旨及ヒ奇蹟即
チ死者ノ復活ト永生ノ質タルイエススハリストスノ復活是ナリ

四三八 丁 行 誤
 四三二 九 一 九 九 九 〇 一 〇 三 七 三
 造抄「斷」 籍ル「唯神教」 善社 成果 以ヲ於テ 新報 蔓延 「言ハ」

創抄「斷」 藉ル「爲メ」 藉ル「唯神教」 善社 成果 以ヲ於テ 新法 蔓延 「ハ言」 正 幕 衍

七三二 七二一 七〇七 六九三 六八六 六七四 六六〇 六六一 六三六 六二四 六〇一 五七四 五五六 五一六 五一二 四八七
 八 〇 三 二 五 八 五 七 四 九 八 六 一 九 五 七
 シヲ 智慧 生活 敗壞 「人間ノ」 他 水原 智慧 不可思議 大然 「ヨセヨ」 思籠 「ヲ傳」 掘出 干 掘出 干 掘出
 シテ 智慧 生活 敗壞 「人間ノ」 地 水原 智慧 不可思議 天然 「モセヨ」 思籠 「ヲ傳」 掘出 干 掘出 干 掘出

15/2/38

七八九	一	「ルッソー」	「ルソー」
七九〇	九	幾布。	幾希。
七九八	七	創造ノ。	創造ノ。
八五〇	一	受。	愛。
八六二	二	「來本」	「本來」

明治廿四年二月四日印刷
 全 年二月七日出版

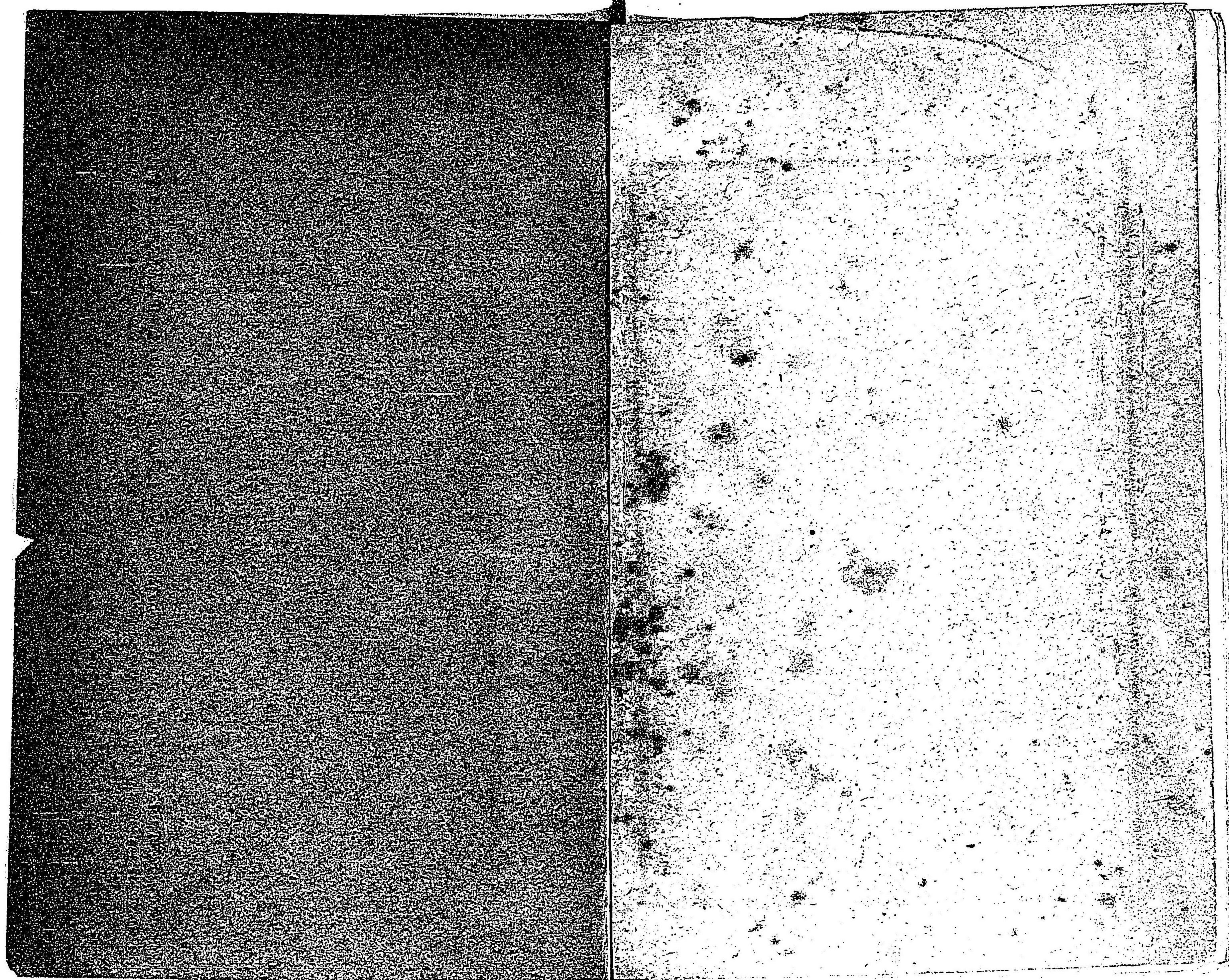
翻譯者兼
 發行者

堀江復

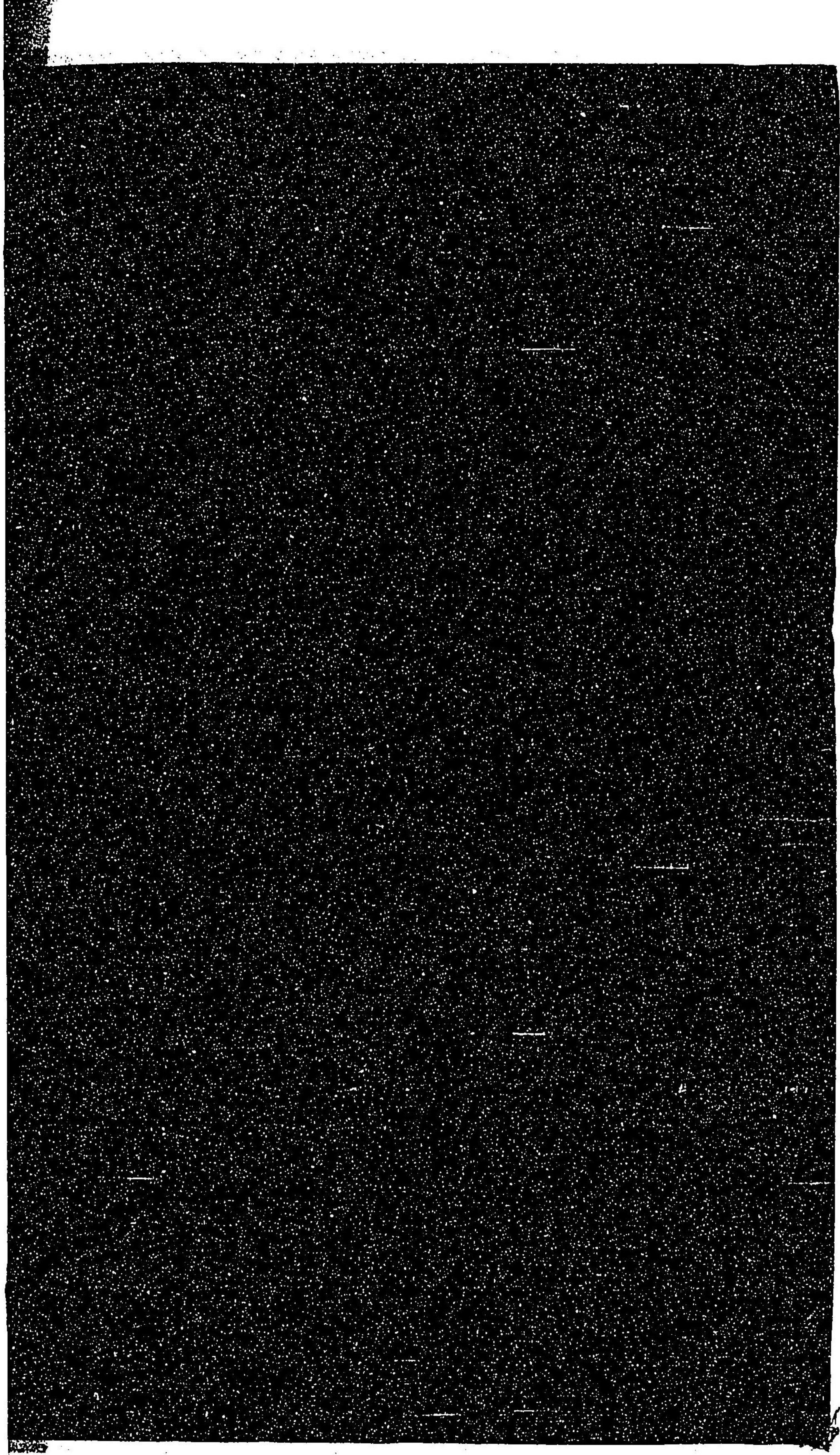
東京市神田區
 小川町四番地

印刷人 岡本利三郎

東京市麴町區
 麴町拾丁目四番地



38
95



38
95

